TOSHIBA
Leading Innovation >>>

REGZA
レグザブルーレイ

東芝ブルーレイディスクレコーダー取扱説明書

形名 **DBR-Z320**
DBR-Z310

地上・BS/110度CSデジタルハイビジョンチューナー内蔵
ブルーレイディスクレコーダー

準備編

接続と設定

- 電源を「入」にしたとき
  電源を入れたあと、画面が表示されるまでに少し時間がかかりますが、そのままお待ちください。
- **本機の操作で「わからない」「困った！」そんなときは…**
  「困ったときは」操作編 **114****、「総合さくいん・用語解説」操作編** **129** **をご覧ください。**
- 必ず最初に本書の「安全上のご注意」 4 をご覧ください。
  本書では「安全上のご注意」「接続」「設定」などについて説明しています。
- このたびは東芝ブルーレイディスクレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
  お求めのブルーレイディスクレコーダーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
  お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

もくじ

はじめに 2

レコーダーを準備する 8

かんたん設定をする 18

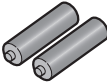
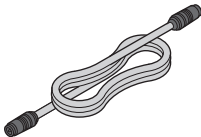
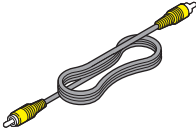
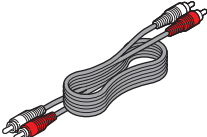
その他の設定 30

ご注意と参考資料 46

● ヒントアイコン

操作するときに役立つ内容などのお知らせです。

機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

取扱上のご注意を記載しています。

関連する内容が記載されているページの番号を記載しています。

接続の前に

付属品を確認

□の中に、チェックマーク（✓）を付けてご確認ください。

欠品があるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

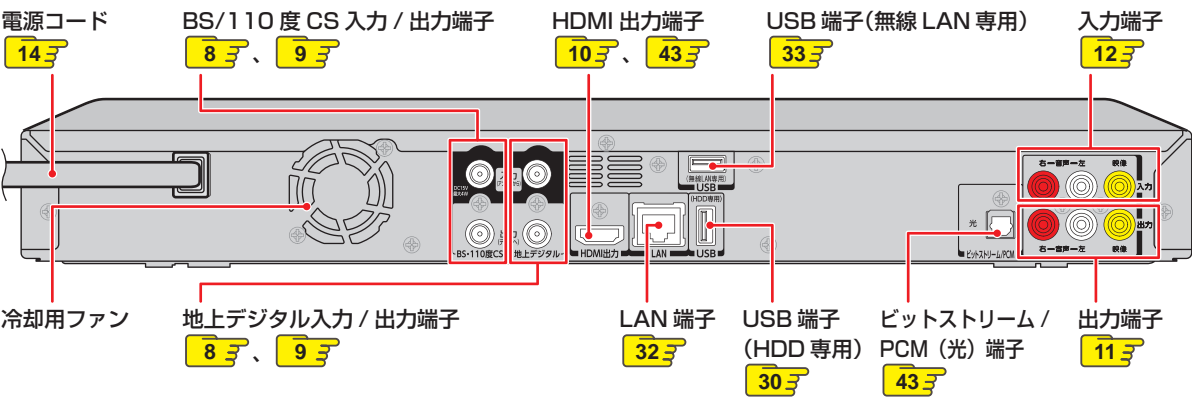
□ リモコン／１個	□ 単四形乾電池／２個	□ B-CAS カード／１枚 （台紙に貼り付けてあります）
□ 同軸ケーブル／１本	□ 映像接続コード／１本	□ 音声接続コード／１本

□ 本書（取扱説明書 準備編）／1冊

□ 取扱説明書 操作編／1冊

□ かんたん準備ガイド／1冊

□ BS/110度CSデジタル放送受信契約申込書一式

各部のなまえ・本体背面

● 本機内部の放熱をよくするために、本機背面の冷却用ファンと壁やテレビ台などの周辺物との間は、10cm 以上空けてください。

● 本体背面の冷却用ファンは，本体の電源が「入」および「瞬速起動」設定時間帯に常時回ります。

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表示	表示の意味
⚠警告	「取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること」を示します。
⚠注意	「取扱いを誤った場合、人が軽症（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること」を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：軽症とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図記号	図記号の意味
⃠ 禁止	「⃠」は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指示	「●」は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注意	「△」は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

異常や故障のとき

次のときは、ただちに電源プラグを抜く

- **煙が出ていたり、変なにおいがしたりするとき**
- **内部に水や異物がはいったとき**
- **落としたり、キャビネットを破損したとき**
- **電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したりしたとき**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。発煙・発熱などが治まったのを確認後、お買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検・修理・交換をご依頼ください。また、キャビネットが破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。

プラグを抜け

⚠警告

設置するとき

電源プラグは交流 100V のコンセントに接続する

交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かない

本機が落ちて、けがの原因となります。

屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かない

火災・感電の原因となります。

上にものを置かない

金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

使用するとき

電源コードは

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない**

火災・感電の原因となります。

修理・改造・分解はしない

火災・感電の原因となります。
点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

ディスクトレイなどから異物を入れない

金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様がいるときにはご注意ください。

雷が鳴りだしたら、本機、接続機器やコード類に触れない

感電の原因となります。

可燃性ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃や可動部の潤滑用など、可燃性ガスを本機に使用すると、噴射される可燃性ガスが本機の内部に留まり、モーターやスイッチの接点や静電気の火花が引火して、爆発や火災が発生するおそれがあります。

電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。

誤って飲み込むと窒息などの原因となります。
万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

トレイ開閉口の前にものを置かない

トレイが開いた時に、ものに当たって倒れたり破損してけがの原因となります。

お手入れ

ときどき電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの取付面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除する

電源プラグの絶縁低下によって、火災・感電の原因となります。

また、接触不良による故障の原因となります。

（電源プラグは待機状態のときに抜いてください。）

安全上のご注意・つづき

⚠注意

設置するとき

風通しの悪い場所に置かない

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
- 壁に押しつけないでください。
- 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

背面の内部冷却用ファンおよび通風孔をふさがない

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。これら通風孔とラックとの間は 10cm 以上離してください。

温度の高い場所に置かない

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります

高い場所に設置しない

本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。

本機に接続するケーブルは正しく接続する

正しく接続しないと、本機や他の機器の故障や火災の原因となることがあります。

使用するとき

移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線をはずす

電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などをはずさずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間不在の場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。

テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎない

音量を上げすぎると、耳への刺激で聴覚機能に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。

ディスクトレイに、手を入れない

指をはさみ、けがの原因となることがあります。特にお子様がいるときにはご注意ください。

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

リモコンに使用している乾電池は、
- **指定以外の乾電池は使用しない**
- **極性［(+) と (−)］を間違えて挿入しない**
- **充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない**
- **乾電池に表示されている［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない**

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときは、すぐにきれいな水で洗い眼科医の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

⚠注意

本機で3D 映像を楽しむときには、以下の注意事項をお守りください。

3D 映像視聴の際には、3D 対応テレビ（ディスプレイ）および 3D 対応メガネの取扱説明書などに記載の説明事項・注意事項も十分ご確認のうえ、これらの事項を守って視聴してください。

3D映像を見るとき

てんかんの可能性がある人、光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調の悪い人は 3D 映像を見ない 症状悪化の原因となることがあります。 禁止	**近視の人、遠視の人、左右の視力が異なる人、乱視の人は、視力矯正メガネなどを着用で視力を矯正したうえで 3D メガネを着用する** 視力を矯正しないで 3D 映像を見ると、目の疲れや、視力がより低下する原因となることがあります。 指示
画面（映像）から適正な距離で視聴する 近づいて視聴すると、目の疲れや視力低下の原因となることがあります。使用するテレビ（ディスプレイ）の取扱説明書などで推奨される距離で視聴するようにしてください。 指示	**長時間の視聴は避け、適度に休憩をとる** 長時間の視聴は目の疲れの原因となることがあります。 指示
3D 映像を見ているときに、感覚に異常を感じたり、疲れを感じたり、気分が悪くなったりしたときは、見るのをやめる そのまま見続けると体調不良の原因となることがあります。 指示	**3D 映像が二重の映像に見えたり、立体感が得られなかったりしたら見るのをやめる** そのまま見続けると目の疲れの原因となることがあります。 指示
3D 映像の視聴年齢は 6 歳以上を目安にする お子様が 3D 映像を視聴する場合は、保護者の方の管理のもとに、視聴の可否判断や時間制限などをしてください。 指示	**周囲の人や物に注意する** 3D 映像で距離感を誤って手を伸ばしたり、3D 映像を実際の物と間違えて急に身体を動かしたりすると、周囲の人にけがをさせたり、周囲の物を壊してけがをしたりする原因となることがあります。 周囲に壊れやすいものを置かないようにしてください。 注意

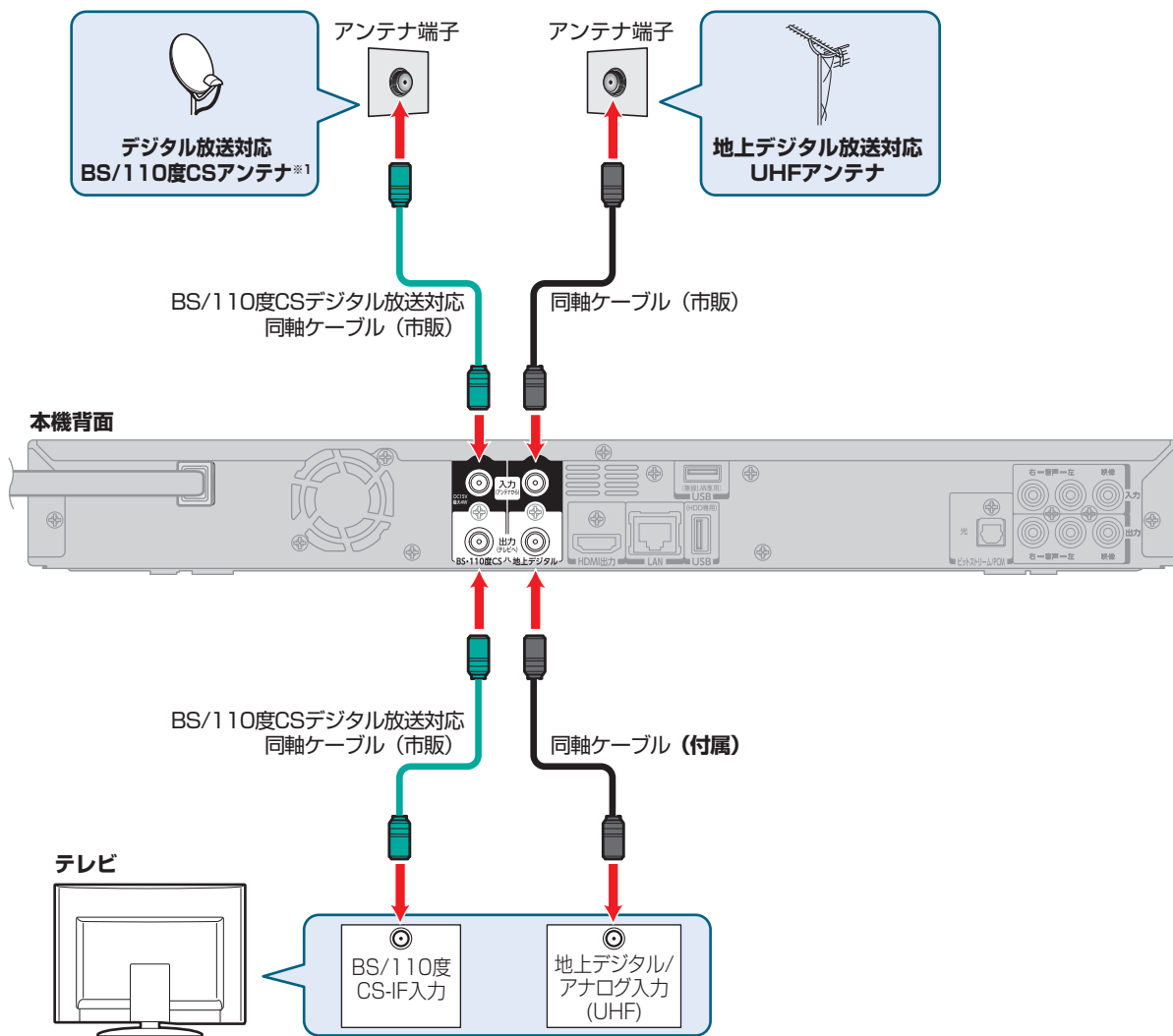
● 「安全上のご注意」をお読みになったあとは 46 の「使用上のお願い」も同様に、必ずお読みください。

アンテナ線を本機につなぐ

ご自宅のアンテナの状況に応じて、アンテナ－本機－テレビ間でアンテナ線をつないでください。

ケーブルテレビ(CATV)で受信している場合は　「CATV チューナーをつなぐ」12をご覧になり、接続してください。

- デジタル放送用のアンテナやケーブル、プラグは、デジタル放送対応のものをお使いください。
  アンテナ線の加工が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 受信する放送の種類によっては、BS/CS/U･V分波器(市販品)が必要です。
- BS/110度CSデジタル放送を受信しない場合は、BS/CS関連のケーブルやBS/CS/U･V分波器の接続は不要です。
- BS/110度CSアンテナは電源の供給を必要とします。本機はBS/110度CSデジタル放送用アンテナに電源を供給することができます。詳しくは「BS/110度CSデジタル放送のアンテナを調整する」25をご覧ください。

地上デジタル放送とBS/110度CSデジタル放送のアンテナ端子が、別々のときは

※1 BS/110度CSアンテナは、方向や角度がわずかでもずれると放送が映りません。調整のしかたは、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

各放送波の信号が混合されているときは

アンテナ端子

デジタル放送対応
BS/110度CSアンテナ※1

地上デジタル放送対応
UHFアンテナ

同軸ケーブル（市販）

デジタル放送対応
BS/CS/U･V分波器
（市販）※2

BS/110度CSと地上放送の混合信号をそれぞれの信号に分けます。

BS/CS出力　U･V出力

BS/110度CSデジタル放送対応
同軸ケーブル（市販）

同軸ケーブル（市販）

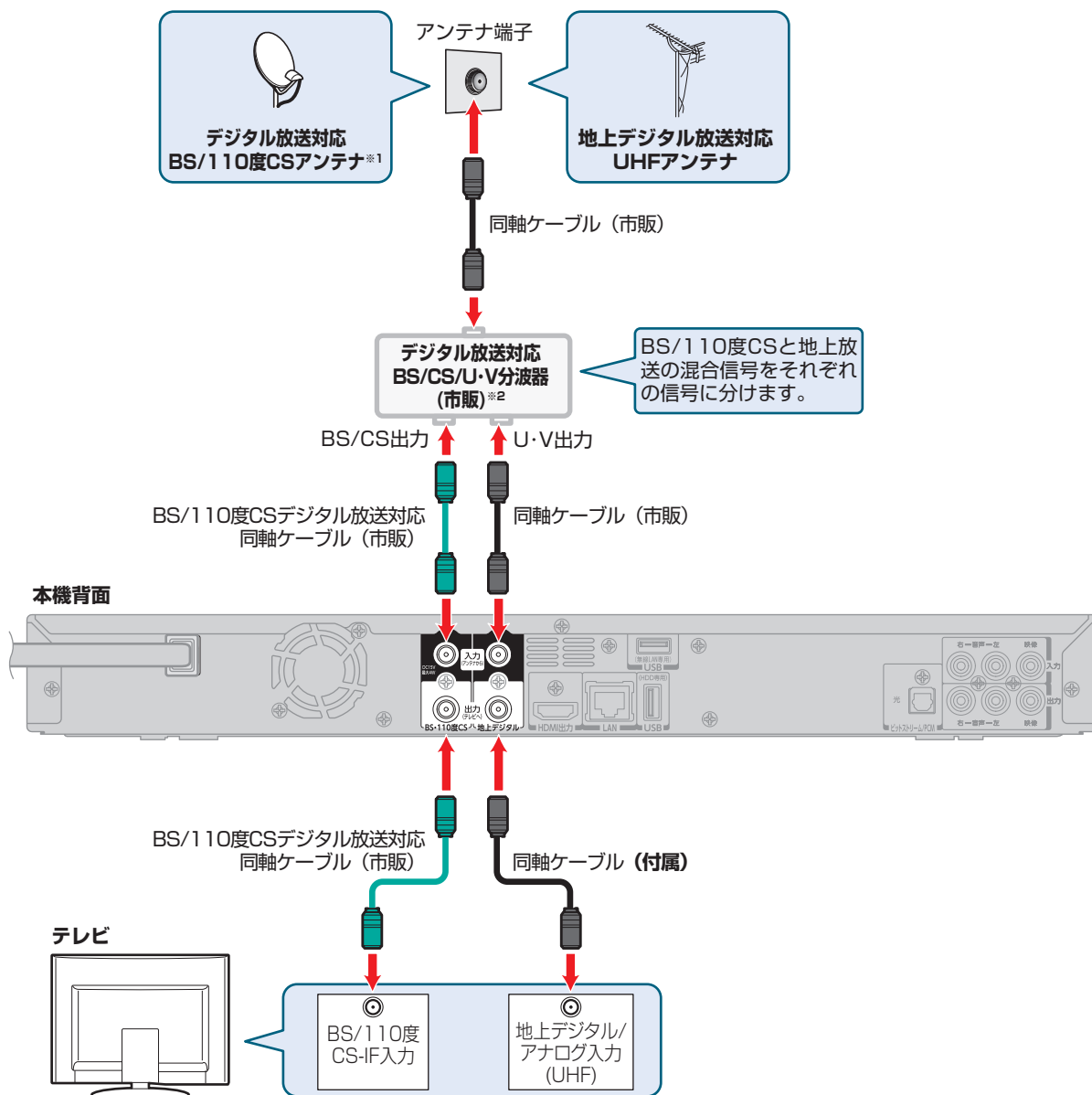
本機背面

BS/110度CSデジタル放送対応
同軸ケーブル（市販）

同軸ケーブル**（付属）**

テレビ

BS/110度
CS-IF入力

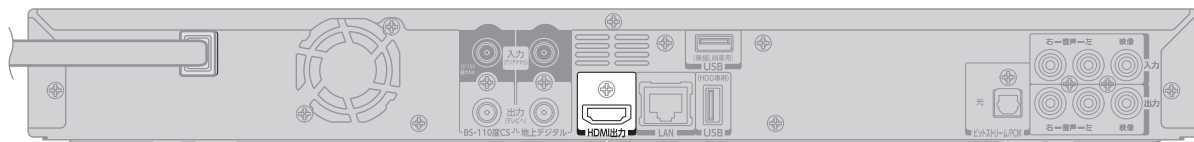
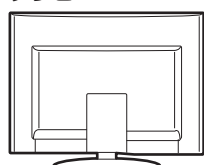
地上デジタル/
アナログ入力
(UHF)

※1　BS/110度CSアンテナは、方向や角度がわずかでもずれると放送が映りません。調整のしかたは、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

※2　分波器（市販）には、ケーブル一体型のものや3分波タイプのものもあります。お買い求めになるときにどのタイプの分波器を選べば良いかわからないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

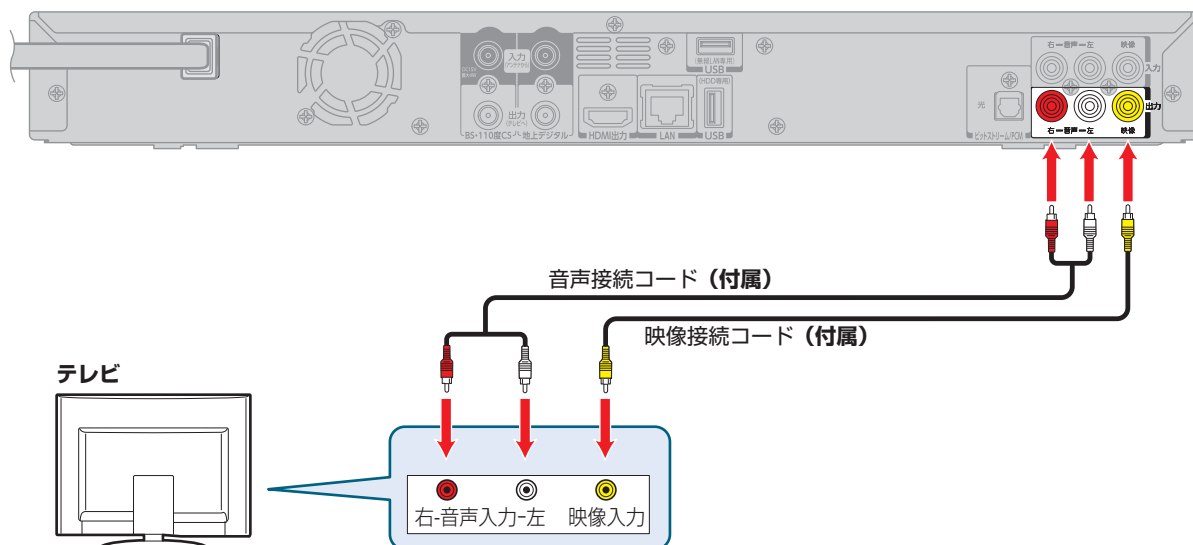
- 平行フィーダー線は、受信障害の原因となることがあるので、使用しないでください。
- 同軸ケーブルがF型コネクタータイプのときは、本機につなぐときに工具を使って強く締めつけないでください。
- BS・U/V分波器・分配器は、金属シールドタイプ(亜鉛ダイカスト製など)で110度CS帯域(2150MHz)まで対応の、電流通過型のものをご使用ください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

本機とテレビをつなぐ

HDMI入力端子付きテレビとつなぐ

映像・音声信号をケーブル 1 本でつなぐことができ、高画質・高音質な再生が楽しめます。
また、ハイビジョン対応テレビと接続すると、デジタル放送の HD 放送をハイビジョン画質で楽しむことができます。
当社製のレグザリンク対応テレビと接続すると、レグザリンク機能が使えます。44

- HDMIケーブルは、HDMI規格に準拠したHDMIロゴのあるHigh Speed HDMIケーブル(市販)をご使用ください。
- HDMIケーブルは、プラグの大きさや形状によって接続できないことがあります。
- 本機のHDMI出力端子は、DVI入力端子付きディスプレイモニターやDVI－HDMIケーブルには対応していません。HDMI入力端子付きディスプレイモニターの場合は、HDMI規格に準拠していれば利用できます。

映像(黄)端子付きテレビとつなぐ

HDMI 入力端子付きでないテレビとつなぐときは、こちらの方法でつないでください。

- 映像・音声接続コードでつなぐと、ハイビジョン画質で楽しむことはできません。
- 映像・音声接続コードでつなぐ場合は、本機とテレビを直接つないでください。
- 映像・音声接続コードを使って、本機からの映像を他機などを通してご覧になると、コピー防止機能によって正常な映像にならないことがあります。

CATV チューナーをつなぐ

以下は接続の一例です。
実際の接続とご使用にあたっては、接続する機器や会社ごとに詳細が異なります。詳しくは、CATV（ケーブルテレビ）会社にお問い合わせください。また、チューナーの取扱説明書もお読みください。

ケーブルテレビのアンテナ端子

同軸ケーブル（市販）

ホームターミナル/
セットトップボックス

ケーブル入力　ケーブル出力

右-音声出力-左　映像出力

映像接続コード（市販）

同軸ケーブル（市販）

音声接続コード（市販）

本機背面

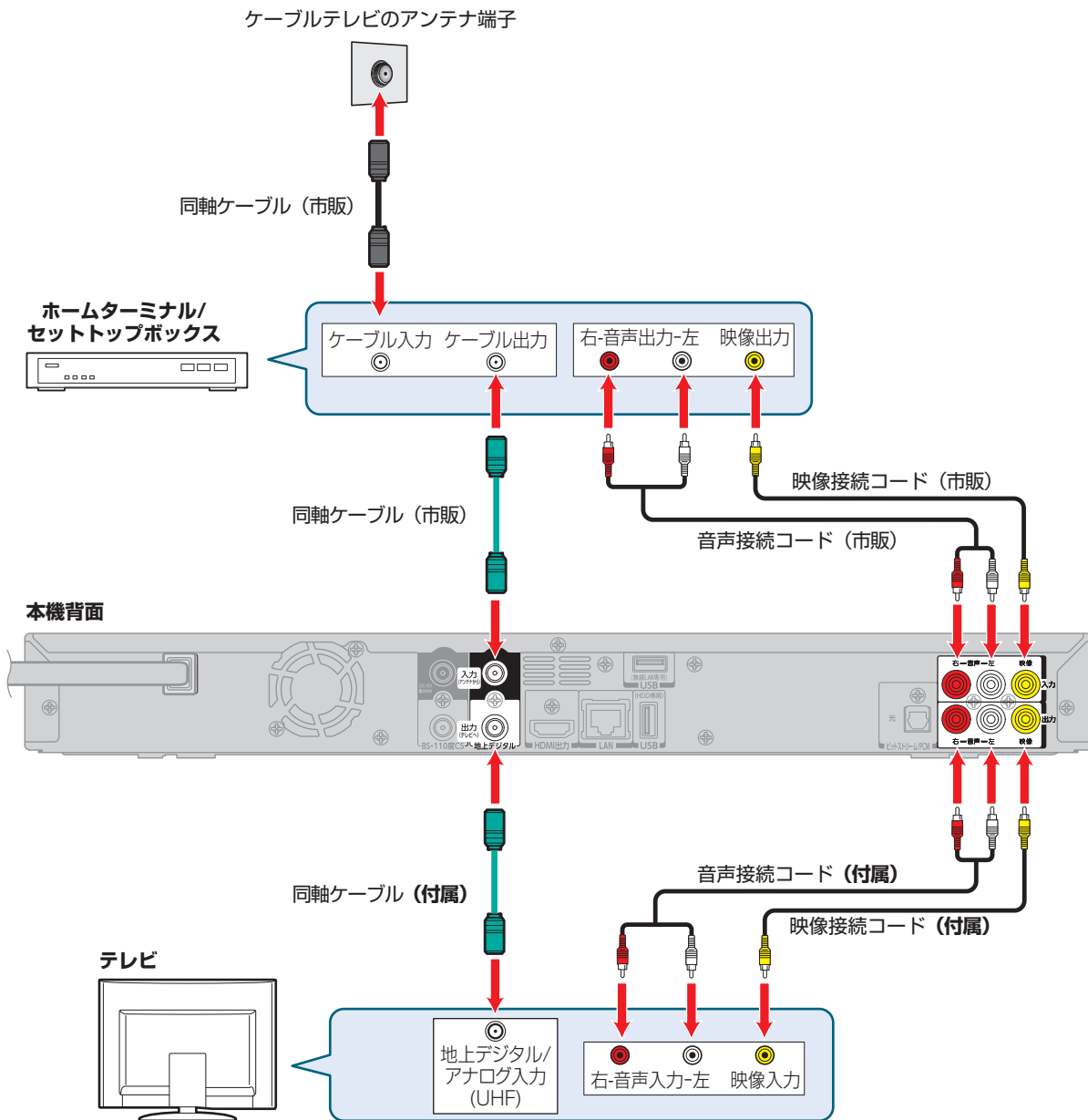
同軸ケーブル（**付属**）

音声接続コード（**付属**）

映像接続コード（**付属**）

テレビ

地上デジタル/
アナログ入力
(UHF)

右-音声入力-左　映像入力

- 地上/BS/110度CSデジタル放送をケーブルテレビのホームターミナルやセットトップボックスの映像出力から録画したときは、HD放送でも標準(SD)画質での録画となります。ハイビジョン(HD)画質での録画はできません。

- 本機はパススルー方式に対応しています。パススルー方式とは、CATV会社が地上デジタル放送を信号変換せずそのままケーブルテレビに送る方式です。ご加入のケーブルテレビ会社がパススルー方式であれば、地上デジタル放送を本機で受信・録画できます。ケーブルテレビ経由の地上デジタル放送は、本来のUHFチャンネルとは違うチャンネルに周波数を変換して送られてくることがあります。

スカパー！専用チューナーをつなぐ

以下は接続の一例です。
実際の接続とご使用にあたっては、接続する機器ごとに詳細が異なります。チューナーの取扱説明書をお読みください。

スカパー！専用チューナー

右-音声出力-左　映像出力

映像接続コード（市販）

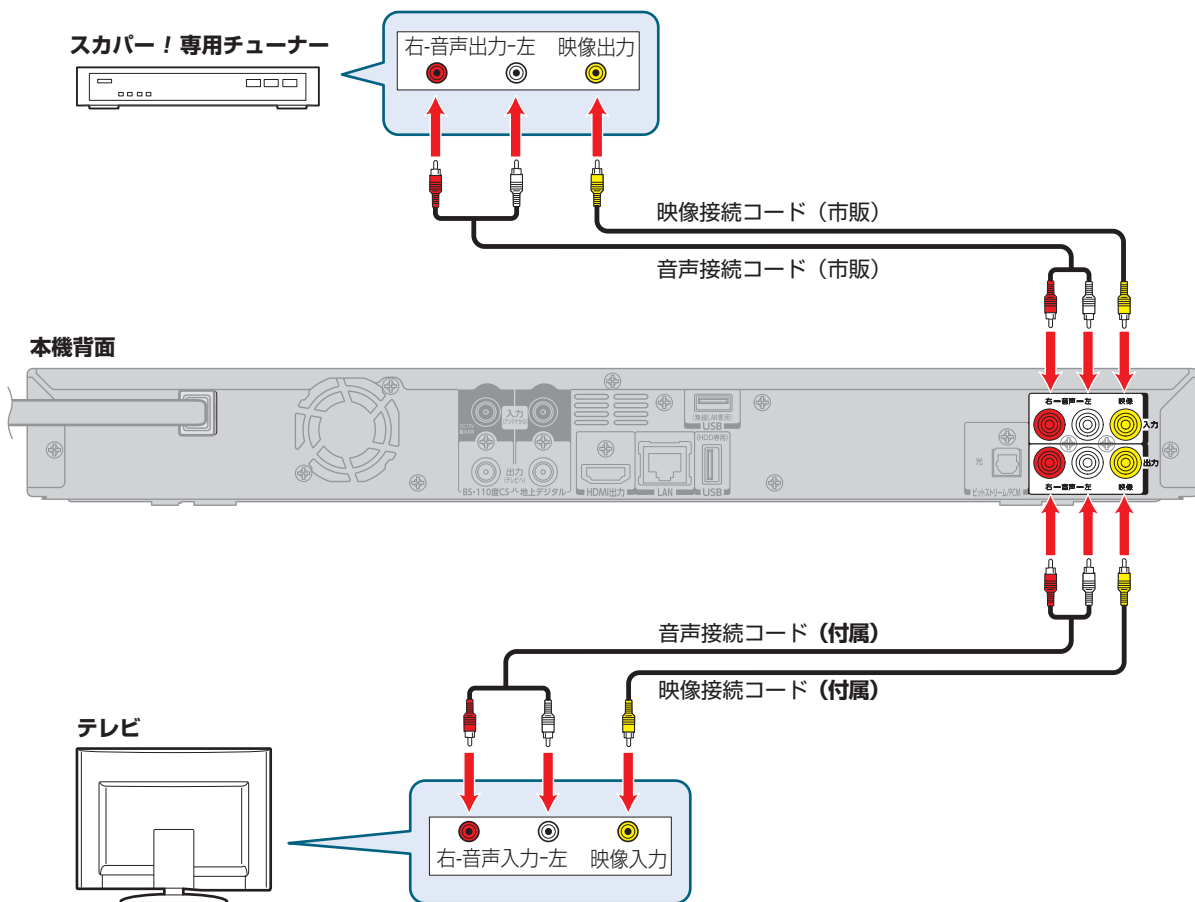
音声接続コード（市販）

本機背面

音声接続コード（**付属**）

映像接続コード（**付属**）

テレビ

右-音声入力-左　映像入力

● 本接続は、スカパー！専用チューナーのアナログ映像出力から標準（SD）画質での録画となります。

● 本機とスカパー！ HD対応チューナーをLANケーブルでつなぐと、ハイビジョン画質で録画することができます。32

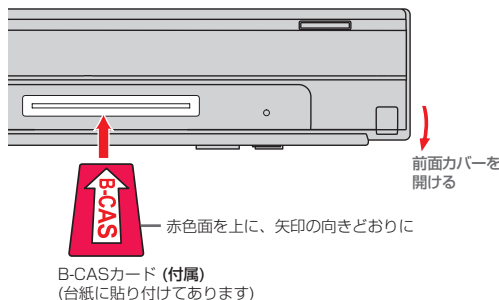
B-CAS カードを入れる／電源を入れる

B-CASカードを入れる

本機でデジタル放送を見るためには、B-CAS カード（付属）が必要です。

現在はデジタル放送をご覧にならない場合でも、紛失防止のために B-CAS カードを入れておくことをおすすめします。

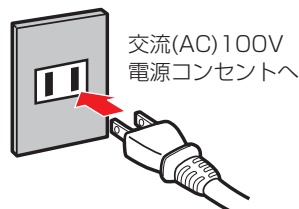
1 B-CASカードを下の図の向きにして、奥までしっかり差しこむ

B-CASカード **(付属)**
(台紙に貼り付けてあります)

B-CASカードについて

- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- 金色の端子部分には、手を触れないでください。
- 分解・加工をしないでください。
- 本機を使用中はB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- B-CASカードの抜き差しは、必ず本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いて行ってください。
- 付属のB-CASカードの台紙に記載されている文面をよくお読みください。
- B-CASカードに個人情報が書き込まれることはありません。
- B-CASカードについてのお問い合わせ（2012年10月現在）
  (株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
  カスタマーセンター
  TEL　0570-000-250
  （IP電話からの場合は 045-680-2868 ）
  受付時間 10：00 ～ 20：00（年中無休）
  http://www.b-cas.co.jp/

- 本機専用のB-CASカード以外のものを入れないでください。故障や破損の原因になります。
- 裏向きや逆方向に入れないでください。入れる方向を間違うと、B-CASカードは機能しません。
- 付属のB-CASカードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。
  破損や紛失などの場合は、ただちにB-CAS「(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

電源コードをつないで電源を入れる

1 すべての接続が終わったら、電源コードをつなぐ

- 電源プラグを交流（AC）100V の電源コンセントに差し込むと、本機が通電状態になり、本機の電源スタンバイランプが点滅します。
- 電源スタンバイランプの点滅中は、本機の操作はできません。
- 表示が消えると、本機の操作ができるようになります。

2 テレビの電源を入れ、本機が接続されている入力に切り換える

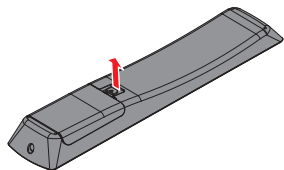
3 本機の電源を入れる

- 詳しくは、操作編 16 をご覧ください。
- 続けて、「かんたん設定」18 を行ってください。

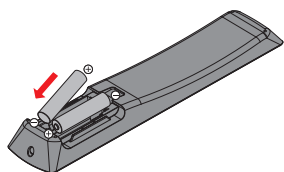
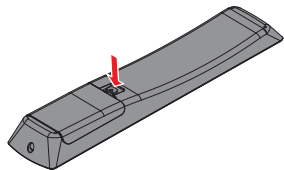
- 本機の電源コードを電源コンセントから抜くと、テレビの映りが悪くなることがあります。その場合は、本機の電源コードを常に電源コンセントに差し込んで（通電状態にして）おいてください。
- 本体の動作中は電源コードを抜き差ししないで下さい。正常に録画できなかったり、ディスクが使用できなくなるおそれがあります。

リモコンを準備する

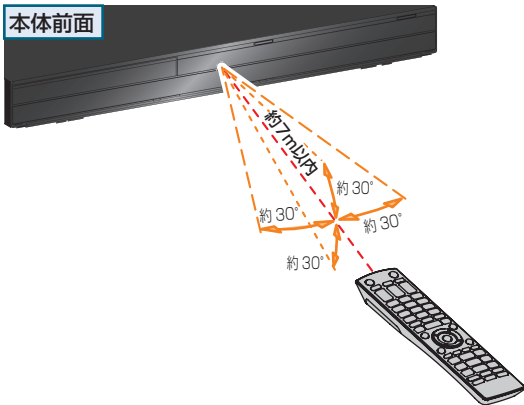
リモコンに乾電池を入れる

1 リモコンの裏面のフタをはずす

2 (−)側を先に入れたあと、(+)側を入れる

電池は以下の単四の乾電池(1.5V 2個)をお使いください。

- マンガン乾電池
- アルカリ乾電池

3 裏面のフタを取り付ける

- 乾電池が完全に入らない状態で使うと、乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- 次のような場合は、乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。
  - リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたとき。
  - リモコンモードやテレビメーカーの設定がお買い上げ時の設定(「RC1」、「東芝A」)に戻ってしまうとき。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- オキシライド乾電池(ZR6)、エボルタ乾電池(LR6)などは、リモコン誤動作の原因となりますので、使用しないでください。
- リモコンの乾電池を交換するとリモコンモードやテレビメーカーの設定がお買い上げ時の設定(「RC1」、東芝A)に戻ることがあります。この場合は、もう一度設定してください。16、17
- 長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り出してから保管してください。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例に従って処理してください。

リモコンの使用範囲について

リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用してください。

距離… 本機正面より 7m 以内
角度… 本機正面より 左右 約 30 ˚以内 (5m 以内)
上 約 30 ˚以内 (5m 以内)
下 約 30 ˚以内 (5m 以内)

- リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。

- **リモコンの取扱いについて**
  - 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 高温になる場所や湿度の高い場所に置いたりしないでください。
  - 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。

- 本機のリモコンと液晶シャッター方式の3D グラスは、どちらも赤外線信号を使用します。本機のリモコン受光部とテレビの3D グラス用赤外線発信部が近いと、誤動作を起こすことがありますので、なるべく離して設置してください。

リモコンを準備する・つづき

本機のリモコンでお使いのテレビを操作できるようにする

1 リモコンのテレビ用の を押したまま、数字ボタンを押す

- 下記の表を参考に、お使いのテレビのメーカー番号を、2ケタ入力してください。（お買い上げ時の設定は、「東芝A」になっています）

対応するテレビメーカー	メーカー番号
東芝 A	00
東芝 B	01
パナソニック A	02
パナソニック B	03
日立	04
三菱	05
シャープ A	06
シャープ B	07
シャープ C	08
日本ビクター	09
三洋 A	10
三洋 B	11
ソニー	12
フナイ	13
NEC	14
富士通ゼネラル	15
パイオニア	16
エプソン	17

例：東芝A（00）の場合テレビ用の 電源 を押したまま、10/0 ➡ 10/0 を押します（10/0 は番号「0」です）。

メーカー指定用ボタンが複数あるときは

いずれかのボタンで指定して電源が入／切できないときは、他のボタンを指定してみてください。

テレビを操作するときは

1 リモコンをテレビのリモコン受光部に向ける

2 テレビを操作する

- 以下のボタンでテレビが操作できます。

ご注意

- テレビによっては、本機のリモコンではメーカー設定や操作ができないことがあります。
- また、テレビメーカーの設定ができても、一部の機能が操作できないことがあります。

本機のリモコンが他のレコーダー機器を操作しないようにする

当社製レコーダーを２台以上使用するとき、本機のリモコンに他のレコーダーが反応してしまうことがあります。その場合、本機とリモコンにそれぞれリモコンモードを設定することによって、他のレコーダーが反応しないようにすることができます。（お買い上げ時の設定は、本体、リモコンとも「RC1」になっています。）

- 本機以外のレコーダーでリモコンモードを設定するときは、その機器の取扱説明書をお読みください。

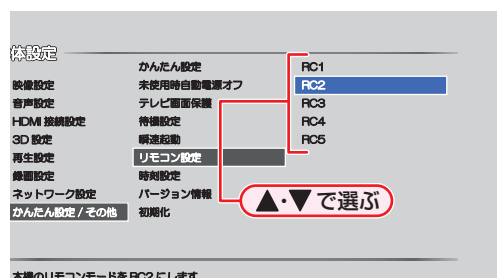
先に本体のリモコンモードを変更したあと、リモコンのリモコンモードを本体に合わせて変更してください。

1 スタートメニューを押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲･▼･◀･▶で「本体設定」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「かんたん設定/その他」を選び、決定を押す

4 ▲･▼で「リモコン設定」を選び、決定を押す

5 ▲･▼で本体に割り当てるリモコンモードを選び、決定を押す

6 手順5で設定したリモコンのリモコンモードを設定する

「RC1」を選んだとき

見るナビを押したまま、1を押し、最後に決定を押す

「RC2」を選んだとき

見るナビを押したまま、2を押し、最後に決定を押す

「RC3」を選んだとき

見るナビを押したまま、3を押し、最後に決定を押す

「RC4」を選んだとき

見るナビを押したまま、4を押し、最後に決定を押す

「RC5」を選んだとき

見るナビを押したまま、5を押し、最後に決定を押す

7 変更が終わったら、戻るを何回か押して通常画面に戻す

お子様などが誤ってリモコンのボタンを押しても、本機が動作しないようにするときは

一時的にリモコン信号を受け付けないようにすることができます。

1 スタートメニュー ➡ 番組内容 ➡ 音声切換 の順に押す

- 解除するときは、もう一度同じ操作をしてください。

ご注意

- 本機のリモコンで、ブルーレイ/DVDプレーヤーやビデオの操作をすることはできません。

お知らせ

- 本体とリモコンのリモコンモードが異なる場合は、本機の電源が「入」のときにリモコンの操作をすると、画面にリモコンモードの設定方法が表示されます。本機の電源が「切」のときは本体前面のHDDランプとDISCランプが点滅します。

かんたん設定をする

接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、テレビ画面に「かんたん設定」画面が表示されます。画面の案内やガイドに従って設定してください。

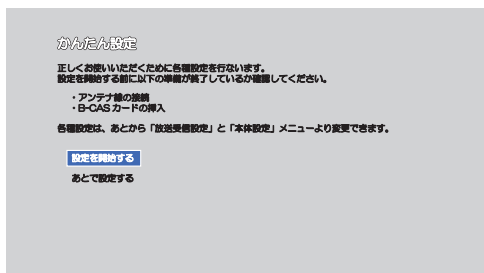
- 転居でお住まいの地域が変わったときなど、「かんたん設定」をやり直したいときは 20 をご覧ください。

≫ 準備

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

「かんたん設定」を開始する

1

電源 を押して本機の電源を入れる

- 「かんたん設定」の開始画面が表示されます。
- 「かんたん設定」の開始画面が表示されないときは、次のことを確認してください。
  - アンテナ－本機－テレビをつないでいますか。
  - コードをつなぎ間違えたり、抜けたり抜けかかったりしていませんか。
  - テレビの入力切換で本機を接続した入力に切り換えていますか。

これらを確認しても開始画面が表示されない場合は

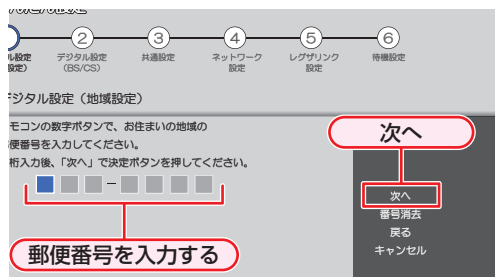
「「かんたん設定」をやり直す」 20 の手順を行ってください。

2 「設定を開始する」を選び、そのまま 決定 を押す

あとで設定するときは

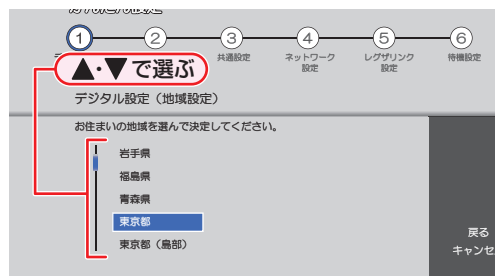
▲·▼で「あとで設定する」を選んで 決定 を押すと、終了画面が表示されるので、「完了」を選び、決定 を押してください。

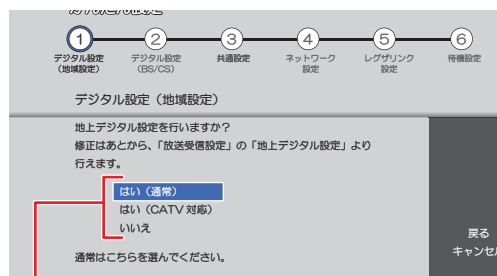
デジタル設定（地域設定）

3 1 ～ 10 でお住まいの地域の郵便番号を入力し、「次へ」が選ばれた状態で 決定 を押す

入力を間違えたときは

◀·▶で間違えた番号にハイライトを合わせてください。

「番号消去」を選んで 決定 を押すと、番号を一括して消去することができます。

4 ▲·▼でお住まいの都道府県を選び、 を押す

- 伊豆、小笠原諸島地域は、「東京都（島部）」を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、「鹿児島県（島部）」を選びます。

5 ▲·▼でスキャンしたい放送の種類を選び、決定を押す

はい（通常）： スキャンします。（通常はこちらを選んでください。）

はい（CATV 対応）： CATV 方式でスキャンします。

- 放送の種類を選ぶと、スキャンが始まります。（スキャンには10分程度かかることがあります。）
- スキャンが終わると、受信されたチャンネルは自動的にリモコンの数字ボタンに割り当てられ、画面に結果が表示されます。

割り当てられたチャンネルを変更するときは

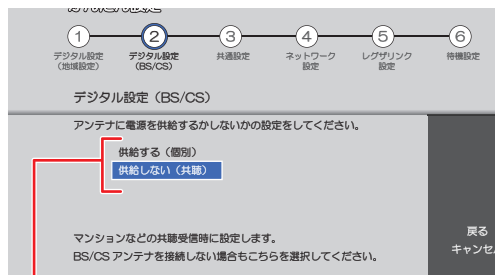
「リモコンの数字ボタンにデジタル放送チャンネルを割り当てる」26 の手順 **3** と **4** をご覧ください。

6 ▲·▼·◀·▶で「次へ」を選び、決定を押す

- 「デジタル設定（BS/CS）」画面で「戻る」を選ぶと、地上デジタル放送のスキャンをやり直すことができます。

デジタル設定(BS/CS)

7 ▲·▼でアンテナに電源を供給するかしないかを選び、決定を押す

- BS/110度CSデジタル放送用アンテナで放送を受信するには、アンテナへの電源供給が必要です。
- アンテナの接続環境に合わせて設定してください。

供給する（個別）： 本機とアンテナを直接つなぎ、他の機器などから電源を供給していない場合、こちらを選択してください。おもに、一戸建て住宅などで受信するときに設定します。

供給しない（共聴）： 他の機器から電源を供給している場合や、CATV などで受信しているとき、また、BS/110度 CS アンテナを接続しない場合もこちらを選択してください。おもに、マンションなどの共聴受信時に設定します。

共通設定

8 ▲·▼でアンテナ出力をするかしないかを選び、決定を押す

- 本機の地上デジタル出力端子やBS/110度CS出力端子からテレビに接続しているときは、「入」に設定してください。

ネットワーク設定

9 ▲·▼でネットワークを設定するかしないかを選び、決定を押す

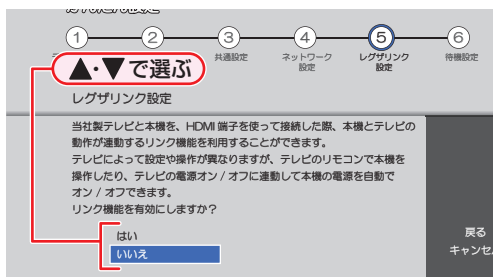
- ネットワークを設定するときは、38 または 39 をご覧ください。

接続と設定　かんたん設定

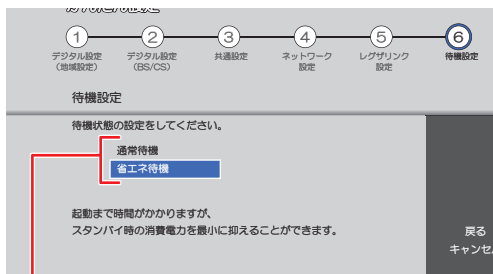
●●▶次ページへつづく

かんたん設定をする・つづき

レグザリンク設定

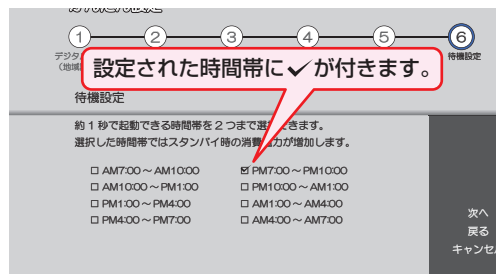
10 レグザリンク機能を利用する場合は▲·▼で､｢はい｣を選び､決定を押す

- レグザリンク機能を使うためには､本機と当社製レグザリンク対応テレビを､HDMIケーブル(市販)で接続してください｡詳しくは､44をご覧ください｡

待機設定

11 ▲·▼でお好みの待機方法を選び､決定を押す

通常待機： ｢省エネ待機｣に設定したときよりも高速で起動しますが､待機時の消費電力が若干増えます｡

省エネ待機： ｢通常待機｣に設定したときよりも起動に若干時間がかかりますが､待機時の消費電力を抑えることができます｡

以下の場合､｢省エネ待機｣を選ぶことはできません｡
- ｢LAN（レグザリンク）連携設定｣を｢使用する｣に設定した場合
- ｢レグザリンク・コントローラ｣を｢入｣に設定した場合

12 ▲·▼·◀·▶で瞬速起動を設定したい時間帯を選び､決定を押す

- 決定を押すたびにチェックあり(☑)､なし(☐)が切り換わります｡
- 最大2つまで設定することができます｡

ここで設定している時間帯だけ､電源を入れてから本機が使用できるまでの時間を｢待機設定｣の｢通常待機｣設定時よりさらに短縮できます｡詳しくは､操作編91をご覧ください｡

13 設定を終えたら､▶で｢次へ｣を選び､決定を押す

14 ｢完了｣を選び､決定を押す
- ｢かんたん設定｣を終了します｡

ご注意
- ｢かんたん設定｣は､必ずアンテナが接続された状態で放送のある時間帯に行ってください｡チャンネルがとばされるように設定されて､選べなくなります｡
- ｢かんたん設定｣実行中は､電源コードを抜いたり電源を切ったりしないでください｡

｢かんたん設定｣をやり直す

1 停止中にスタートメニューを押して､スタートメニュー画面を表示する

2 ▲·▼·◀·▶で｢本体設定｣を選び､決定を押す

3 ▲·▼で｢かんたん設定/その他｣を選び､決定を押す

4 ▲·▼で｢かんたん設定｣を選び､決定を押す

5 18～20の手順3～14を行う

放送関連の設定を変える（放送受信設定）

放送関連の設定は、「放送受信設定」メニューで変えることができます。

「放送受信設定」を使う

1 停止中に スタートメニュー を押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲·▼·◀·▶で「放送受信設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で希望の項目または設定を選び、決定を押す

この操作を繰り返し、希望の設定に変更する
（戻るを押すと、左側の設定項目に戻ります。）

4 設定が終わったら、戻るを何回か押して通常画面に戻す

「放送受信設定」の項目と設定内容

地上デジタル設定

チャンネル初期スキャン

地域設定： お住まいの地域に合った地上デジタルチャンネル設定を行うために必要な設定です。引っ越しなどで、地上デジタル放送の受信地域が変わったときなどに、全チャンネルのスキャンをやり直します。（「かんたん設定」の中で実行されるスキャンと同じです。）

通常： 地上デジタル放送のチャンネルを対象にスキャンを行います。

CATV 対応： CATV のチャンネルを対象にスキャンを行います。

- 設定が終わるまで10分程度かかることがあります。

チャンネル再スキャン

地上デジタル放送の放送局が追加されたとき、チャンネルの再スキャンを行い、新たに受信できた放送局を自動的に追加します。

- 設定が終わるまで10分程度かかることがあります。
- 地上デジタル放送チャンネルのみが対象です。

アンテナの設定

映りが悪い地上デジタル放送チャンネルがあるとき、地上デジタル放送アンテナの受信レベルを確認できます。レベルを確認しながらアンテナの向きを調整してください。「アッテネーター」の設定を変更すると、受信状況が改善する場合があります。24

アッテネーター「入」／アッテネーター「切」

物理チャンネル： リモコンの数字ボタンで、2 桁の物理チャンネルを入力し、受信します。

チャンネルの設定

26 をご覧ください。

チャンネルの割り当て設定： リモコンの数字ボタンに地上デジタル放送用のチャンネルを登録します。

チャンネルスキップ設定： チャンネルで選局するときに不要なチャンネルを飛びこせるように設定します。

自動チャンネルリパック

入： 地上デジタル放送の中継局のチャンネルが変更になった際、それに合わせて本機のチャンネル設定を自動的に更新します。

切： 地上デジタル放送の中継局のチャンネルが変更になっても、本機のチャンネル設定を自動的には更新しません。見られないチャンネルが発生した場合は、「チャンネル再スキャン」を行ってください。

次ページへつづく

放送関連の設定を変える（放送受信設定）・つづき

BS/CSデジタル設定

● BS/110度CSチャンネルに関しては、チャンネルスキャンをしなくても自動的にチャンネルが取得されます。

アンテナ電源

BS/110 度 CS デジタル放送用アンテナで放送を受信するには、アンテナへの電源供給が必要です。ここでは、本機からアンテナへ電源を供給するかどうかを設定します。

供給する（個別）： 本機とアンテナを直接つなぎ、他の機器などから電源を供給していない場合、こちらを選択してください。おもに、一戸建て住宅などで受信するときに設定します。

供給しない（共聴）： 他の機器から電源を供給している場合や、CATV などで受信しているとき、また、BS/110 度 CS アンテナを接続しない場合もこちらを選択してください。おもに、マンションなどの共聴受信時に設定します。

アンテナの設定

映りが悪い BS/CS デジタル放送チャンネルがあるとき、BS/CS アンテナの受信レベルを確認できます。レベルを確認しながらアンテナの向きを調整してください。25

BSチャンネルの設定 26

チャンネルの割り当て設定：リモコンの数字ボタンに BS 放送用のチャンネルを登録します。

チャンネルスキップ設定：チャンネル∧∨で選局するときに不要なチャンネルを飛びこせるように設定します。

CSチャンネルの設定 26

チャンネルの割り当て設定：リモコンの数字ボタンに 110 度 CS 放送用のチャンネルを登録します。

チャンネルスキップ設定：チャンネル∧∨で選局するときに不要なチャンネルを飛びこせるように設定します。

難視聴地域対策

地上デジタル放送を受信できない地域でも、衛星放送を利用して、暫定的に地上デジタル放送の番組を視聴できるように設定します。対応した B-CAS カードが必要です。放送の内容や利用できる地域、お申し込み方法などについては、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ http://www.dpa.or.jp/safetynet/ をご覧ください。

入： 衛星放送を利用して、地上デジタル放送を視聴します。

切： この機能を利用しません。

共通設定

視聴年齢制限 29

デジタル放送の視聴可能年齢を設定します。

● ご利用いただくにはパスワードの作成・入力が必要です。

無制限： 年齢制限無し。

1 歳 ～ 19 歳： 制限したい年齢を選んでください。設定した年齢の制限を越える番組を視聴または予約録画するときは、パスワードの入力が必要になります。

パスワード変更 29

「視聴年齢制限」のパスワードを変更します。

B-CASカード番号表示

B-CAS カードの番号を表示します。

アンテナ出力

本機の電源が「切」のとき、背面の地上デジタル出力端子や BS/110 度 CS 出力端子から信号を出力し続けるかどうかの設定をします。本機の地上デジタル出力端子や BS/110 度 CS 出力端子からアンテナ線をテレビにつないでいるときは「入」にしておいてください。「切」にすると、本機の電源が「切」のときにテレビなどで地上デジタル放送や BS/110 度 CS 放送が受信できなくなります。

入： 電源「切」時でも地上デジタル出力端子や BS/110 度 CS 出力端子から信号を出力します。

切： 地上デジタル出力端子や BS/110 度 CS 出力端子から信号を出力しません。

自動ダウンロード

本機のソフトウェアは更新されることがあります。ここでは、本機の電源が切のときにデジタル放送電波を使って、本機の追加機能や機能向上などの情報をダウンロードし、自動的に本機の制御プログラムを最新のものに書き換えるかどうかを設定します。

自動更新する（推奨）： ソフトウェアが更新されるたびに自動的にソフトウェアのダウンロードを行い、本機をバージョンアップします。ダウンロード実施の報告は「お知らせメール」で届きます。操作編 86

自動更新しない： ソフトウェアが更新されても自動的にダウンロードは行いません。ソフトウェア更新の「お知らせメール」が届くので、ダウンロードを実施したいときに「自動更新する」に設定を変更し、本機のバージョンアップを行ってください。

- 情報取得のために、本機を使用しないときは電源を切にしておくことをおすすめします。
- ダウンロード後は、本書と本機で画面や文言が一致しなくなることがあります。
- ダウンロード更新中は、本体前面のHDDランプが点滅します
- ダウンロード更新中は、本機の電源コードを抜かないでください。 故障の原因となります。
- ダウンロード更新中に本機の操作を行うと、ダウンロードは中止されます。
- 以下の条件下では「自動ダウンロード」は行われません。
  - 電源コードが抜かれているとき。
  - 悪天候などのために受信状態が悪いとき。
  - 本機の電源が入のとき。
  - ダウンロード更新時刻と予約録画が重なるとき。

文字スーパー

ニュース速報など、放送上に文字スーパーの情報が含まれている場合、表示される文字スーパーの言語を設定します。

- 放送に文字スーパーの情報が含まれていないときや、番組（強制的に文字スーパーが表示されるものなど）によっては、設定どおりに表示されないことがあります。
- 「表示しない」に設定していても、自動表示モードの文字スーパーは強制的に表示されます。
- 日本語、英語以外の文字スーパーは表示しません。

日本語で表示／英語で表示／表示しない

地域の設定 28

お客様のお住まいの地域を設定します。データ放送サービスなどで、お住まいの地域に応じたサービスをご利用いただくために必要な設定です。

郵便番号の設定 28

お客様のお住まいの地域の郵便番号を設定します。データ放送サービスなどで、お住まいの地域に応じたサービスをご利用いただくために必要な設定です。

「映りが悪い」チャンネルを調整する

地上デジタル放送のアンテナを調整する

「アッテネーター」の設定を「入」にすると、状況が改善されることがあります。

1 地上デジタル放送の映りが悪いチャンネルを選局する

2 スタートメニューを押し、「放送受信設定」➡「地上デジタル設定」➡「アンテナの設定」の順に選び、決定を押す

3 「アッテネーター」の設定で「切」を選び、決定を押す

- 地上デジタル放送はUHF放送の電波を使って送信されています。物理チャンネルとは、地上デジタル放送を実際に受信しているUHF放送のチャンネル(13 ～ 62CH)のことです。

地上デジタル放送用のアンテナレベルについて

この画面でアンテナレベルを確認しながら、UHFアンテナの向きを調整することができます。この場合、アンテナレベルは「20」以上が目安です。

- この画面で「物理チャンネル」を選び決定を押すと、受信レベルを表示する物理チャンネルを入力することができます。

4 ▲·▼で「入」を選び、決定を押す

アッテネーター

受信の強弱を変更します。「入」にすると弱くなり、状況が改善されることがあります。

切

- 受信の強弱が変更されます。(「入」にすると弱くなり、状況が改善されることがあります。)
- なお、CATVをご利用の場合は、CATVの13 ～ 63CHでも送信されている場合があります。CATV用チャンネルは、手順3で、チャンネル番号の先頭にCが表示されます。

5 調整が終わったら、戻るを何回か押して通常画面に戻す

BS/110度CSデジタル放送のアンテナを調整する

「BS/CS デジタル設定」の「アンテナの設定」画面でアンテナレベルを確認しながら、アンテナの向きを調整することができます。（マンションなどの共用アンテナやケーブルテレビ（CATV）をご利用の場合は、この調整は不要です。）

1 スタートメニューを押し、「放送受信設定」➡「BS/CSデジタル設定」➡「アンテナの設定」の順に選び、決定を押す

2 「入力値」の数値が「２０」以上になるように、アンテナの向きを調整する

- アンテナレベルは「20」以上が目安です。
- 未契約の有料放送のチャンネルが選局されている場合、放送の映像と音声は確認できません。

3 調整が終わったら、戻るを何回か押して通常画面に戻す

- 「BS/CSデジタル設定」の「アンテナ電源」の設定を「供給する（個別）」にしたときは、本機の電源コードを常に電源コンセントに差し込んで（通電状態にして）おいてください。
- BS/110度CSアンテナのアンテナ線がショートすると、「アンテナ電源」の設定が自動的に「供給しない（共聴）」に切り換わることがあります。
- アンテナの設置や工事、アンテナやアンテナ線などの修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。

- アンテナレベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、地上デジタル放送では放送局や環境によって大きく変わることがあります。
- 1台のBS/110度CSアンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ（ケーブル）を最初に接続している機器からBSアンテナ電源を供給してください。22

チャンネルの設定を変更する

リモコンの数字ボタンにデジタル放送チャンネルを割り当てる

1

地上デジタル放送の場合

スタートメニューを押し、「放送受信設定」➡「地上デジタル設定」➡「チャンネルの設定」の順に選び、決定を押す

BS/110度CSデジタル放送の場合

スタートメニューを押し、「放送受信設定」➡「BS/CS デジタル設定」➡「BS チャンネルの設定」または「CS チャンネルの設定」の順に選び、決定を押す

2 「チャンネルの割り当て設定」を選び、決定を押す

- チャンネル割り当て一覧画面が表示されます。
- チャンネル割り当て一覧の並びは、リモコンの数字ボタンの並びと一致しています。

3 ▲･▼･◀･▶で、チャンネルを割り当てたい番号が書かれたマスを選び、決定を押す

- チャンネルリストが表示されます。

4 手順3で選んだ数字ボタンに割り当てたいチャンネルを ▲･▼で選び、決定を押す

- チャンネル割り当て一覧画面に戻ります。
- チャンネルの割り当てを解除する場合は「チャンネルの割当てをしない」を選び、決定を押してください。

5 設定が終わったら、▼・▶で「完了」を選び、決定を押す

6 戻るを何回か押して通常画面に戻す

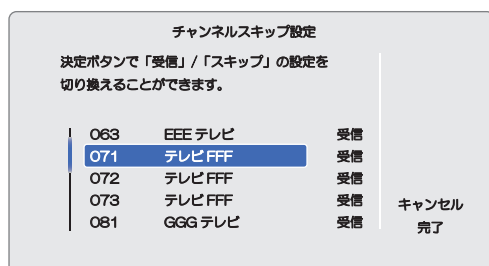
チャンネルをスキップする

チャンネル∧∨を押したときに、視聴しないチャンネルをスキップすることができます。

1 「リモコンの数字ボタンにデジタル放送チャンネルを割り当てる」26の手順1を行う

2 「チャンネルスキップ設定」を選び、決定を押す

- チャンネル一覧が表示されます。

3 ▲・▼で飛びこしたいチャンネルを選び、決定を押す

- チャンネル名右横の「受信」が「スキップ」に切り換わります。
- 決定を押すたびに「受信」と「スキップ」が切り換わります。

4 設定が終わったら、▼・▶で「完了」を選び、決定を押す

5 戻るを何回か押して通常画面に戻す

- 「スキップ」に設定したチャンネルは、番組表にも表示されなくなります。

地域設定を変更する

お住まいの地域を設定します。データ放送サービスなどで、お住まいの地域に応じたサービスをご利用いただくために必要な設定です。

1

スタートメニューを押し、「放送受信設定」➡「共通設定」➡「地域の設定」の順に選び、決定を押す

（詳しい操作方法は 21 をご覧ください。）

2

▲・▼でお住まいの都道府県を選び、決定を押す

- 伊豆、小笠原諸島地域は、「東京都（島部）」を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、「鹿児島県（島部）」を選びます。

3

▲・▼で「郵便番号の設定」を選び、決定を押す

- 郵便番号入力画面が表示されます。

4

1～10でお住まいの地域の郵便番号を入力し、▲・▼・◀・▶で「完了」を選び、決定を押す

入力を間違えたときは

「番号消去」を選んで一括消去するか、◀で戻って入力し直してください。

- 「番号消去」を選ぶには、▲・▼・◀・▶でハイライトを移動し決定を押してください。

5

変更が終わったら、戻るを何回か押して通常画面に戻す

視聴可能年齢を設定する

デジタル放送には青少年の保護の観点から視聴年齢制限付きの放送があります。
視聴制限を解除するためのパスワードを設定すると、デジタル放送の有料放送で視聴可能年齢の制限を超える番組を視聴するときに、パスワードの入力が必要となります。操作編 20
パスワードを設定していない場合、視聴年齢が制限されたスカパー！の録画番組は本機の見るナビ画面に表示されません。

● ここで設定するパスワードは、デジタル放送の視聴制限を解除するためのパスワードとなります。市販ソフトの視聴制限を解除するためのパスワードとは別となります。

1 スタートメニューを押し、「放送受信設定」➡「共通設定」➡「視聴年齢制限」の順に選び、決定を押す

（詳しい操作方法は21をご覧ください。）
- パスワード入力画面が表示されます。

2 1～10/0でパスワード（4桁）を入力する

（初めてパスワードを登録する場合は、確認のためにもう一度パスワードの入力が求められます。）
- 入力した数字は、「＊」で表示されます。
- パスワードが未登録の場合は、ここで入力した番号がパスワードとして登録されます。

入力中に番号を間違えたときは

◀で戻るか、▲･▼で「全てクリア」を選び、決定を押してください。

パスワードを忘れてしまったときは

4、7、3、7を入力してください。
新しいパスワードを設定できます。

3 ▲･▼で設定したい年齢を選び、決定を押す

- 視聴年齢が制限されたスカパー！の録画番組がある場合、設定した年齢よりも制限年齢が上の番組は、本機の見るナビ画面や、ネットワークを利用して別の機器で視聴する場合の再生リストに表示されません。

4 変更が終わったら、戻るを何回か押して通常画面に戻す

パスワードを変更するときは

手順 *1* で「視聴年齢制限」の代わりに「パスワード変更」を選び、決定を押し、画面の指示に従ってください。

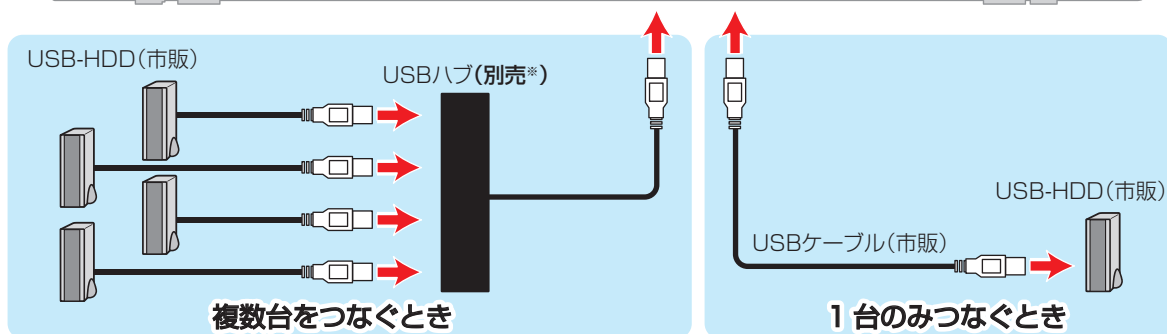
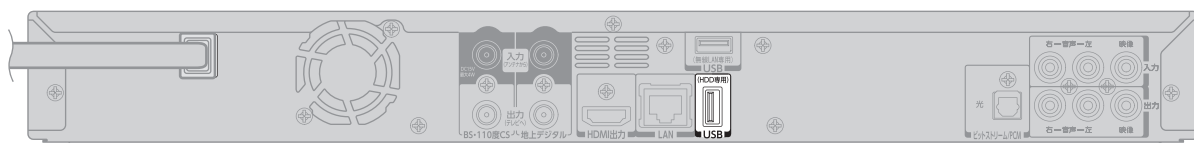
USB-HDD の接続・設定する

本機に USB-HDD を接続して、HDD と同じように本機で受信した番組を録画したり再生したりすることができます。
（USB-HDD の取扱説明書もよくお読みください。）

- 他のレコーダーやテレビ、パソコンなどで使用していたUSB-HDDを本機に接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
- 本機で使用していたUSB-HDDをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で保存した内容はすべて消去されます。
- USB-HDDの動作中は、USB-HDDの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。録画した内容が消えたり、USB-HDDが故障したりする原因となります。
- 本機とUSB-HDDを接続したり、取りはずすときは、本機とUSB-HDDの電源を必ず「切」にしてください。
  「瞬速起動」が設定されている場合は、設定を解除してから電源を「切」にしてください。操作編 92
  電源「切」にしたあと、本体前面のランプがすべて消灯していることを確認してください。
  — USB-HDDの動作中に電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりすると、記録データが消えたり、本体およびHDDが故障したりする原因になります。
- USBハブは専用のACアダプターをご使用ください。
- USBハブを使うときに接続するUSB-HDDは、セルフパワー型をお使いください。（バスパワー型USB-HDDをUSBハブに接続しても使用できません。）

USB-HDD（外付けHDD）をつなぐ

- USB-HDDは本機の背面にあるUSB端子に接続してください。
- USB-HDDが電源付きの場合、本機の電源より先にUSB-HDDの電源を入れてください。
- USBハブを使うと、4台まで接続することができます。（同時に使うことはできません。）

本機背面

※ アイ・オー・データ機器（USB2-HB4R）またはバッファロー（BSH4AE06 シリーズ）をお使いください。

USB-HDDを取りはずすには

- 本機とUSB-HDDの電源が「切」になっていることを確認してから、接続ケーブルを抜いてください。

- USB-HDDに記録した番組を再生できるのは、本機だけです。他の東芝レコーダー（同じ型名のレコーダーも含む）やパソコンなどに接続しても再生できません。

USBハブを使うときは

- USB-HDDの登録名や接続場所などを特定しやすくするために、1台ずつ接続して登録の処理が終わったら次のUSB-HDDを接続するようにしてください。
- 複数台のUSBハブを経由して本機にUSB-HDDを接続することはできません。
- 5ポート以上のUSBハブに5台以上のUSB-HDDを接続しても、本機が認識できるのは4台までです。
- USBハブの中には内部のハブが複数段になっているものもあります。そのようなUSBハブで接続した場合、本機がUSB-HDDを認識しない場合があります。

USB HDDを登録/解除する

USB-HDD を本機に接続したあとに、USB-HDD を本機に登録してください。（本機に登録されていない USB-HDD は使えません。）未登録の USB-HDD を接続すると、登録設定の確認メッセージが表示されますので、「はい」を選び、「登録するときは」へ進んでください。

≫ 準備

• USB-HDD をつないでおく

1 停止中に スタートメニュー を押し、▲･▼･◀･▶で「HDD/ディスクの管理」を選び、決定を押す

2 ▲･▼で、「USB-HDDメニュー」を選び、決定を押す

3 「USB-HDD登録設定」を選び、決定を押す

登録するときは

❶ ▲･▼で「未登録」と表示されている行を選び、決定を押す

• 複数の未登録USB-HDDを接続している場合、接続しているUSB-HDD一覧が表示されますが、一覧ではUSB-HDDを特定できません。USB-HDDは、1台ずつ接続してください。

❷ ▲･▼で「USB-HDDを本機に登録する」を選び、決定を押す

• 確認メッセージが表示されるので、▲･▼で「はい」を選び、決定を押してください。

❸ ▲･▼で登録したUSB-HDDの名称を設定するかしないかを選び、決定を押す

「はい」を選んだ場合

手順❹へ進む

「いいえ」を選んだ場合

登録を完了して通常画面へ戻ります。

• あとで名前を変更する場合は、「ディスクまたはUSB-HDDの名前を変更する」操作編 98 をご覧ください。

❹ 編集画面が表示されるので名前を入力し、決定を押す

• 確認メッセージが表示されるので▲･▼で「はい」を選び、決定を押してください。
• 文字の入力方法については、「文字入力のしかた」操作編 63 をご覧ください。

❸ 設定が終わったら、戻るを何度か押して、通常画面に戻す

解除するときは

❶ ▲･▼で登録を解除したいUSB-HDDを選び、決定を押す

❷ ▲･▼で「USB-HDDの登録を解除する」を選び、決定を押す

• 確認メッセージが表示されるので、▲･▼で「はい」を選び、決定を押してください。

❸ 設定が終わったら、戻るを何度か押して、通常画面に戻す

● USB-HDD を本機へ登録するときは、本機専用フォーマットで初期化します。過去の保存データはすべて消去されます。
● 本機への登録を解除したUSB-HDD は、録画も再生もできなくなります。登録を解除したUSB-HDD を、もう一度本機に登録する場合も本機専用フォーマットで初期化しますので、タイトルはすべて消去されます。登録を解除するUSB-HDD は、間違えないように注意してください。
● USB-HDDは、8台まで本機に登録できます。

ネットワークの接続・設定する

用途やお客様のネットワーク環境によって、接続や設定方法が異なります。下図を確認しながら接続や設定をしてください。

LANケーブルを使って接続する

ブロードバンド環境でつなぐとき

本機背面

スカパー！ HD 録画（スカパー！プレミアムサービス Link）

スカパー！をハイビジョンで録画やダビングすることができます。

必要な設定

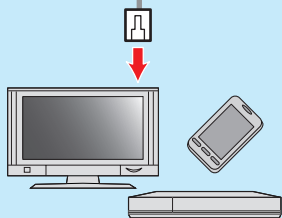
「ネットワーク接続設定」 32
「LAN（レグザリンク）連携設定」 40

e メールで録画予約したい

e メールで録画予約することができます。

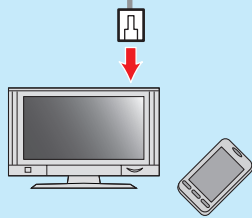
必要な設定

「ネットワーク接続設定」 32
「LAN（レグザリンク）連携設定」 40
「レグザリンクシェア設定」 40
「ネット de ナビ設定」 41

他機を使ってダビングしたい（ネット de レック）

録画した番組をテレビから本機にダビングしたり、本機からスマートフォンにダビングしたりできます。

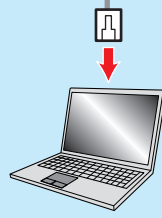
必要な設定

「ネットワーク接続設定」 32
「LAN（レグザリンク）連携設定」 40
「レグザリンクシェア設定」 40

他機を使って再生したい（ネット de サーバー HD）

本機で録画した番組をスマートフォンなどで再生することができます。

必要な設定

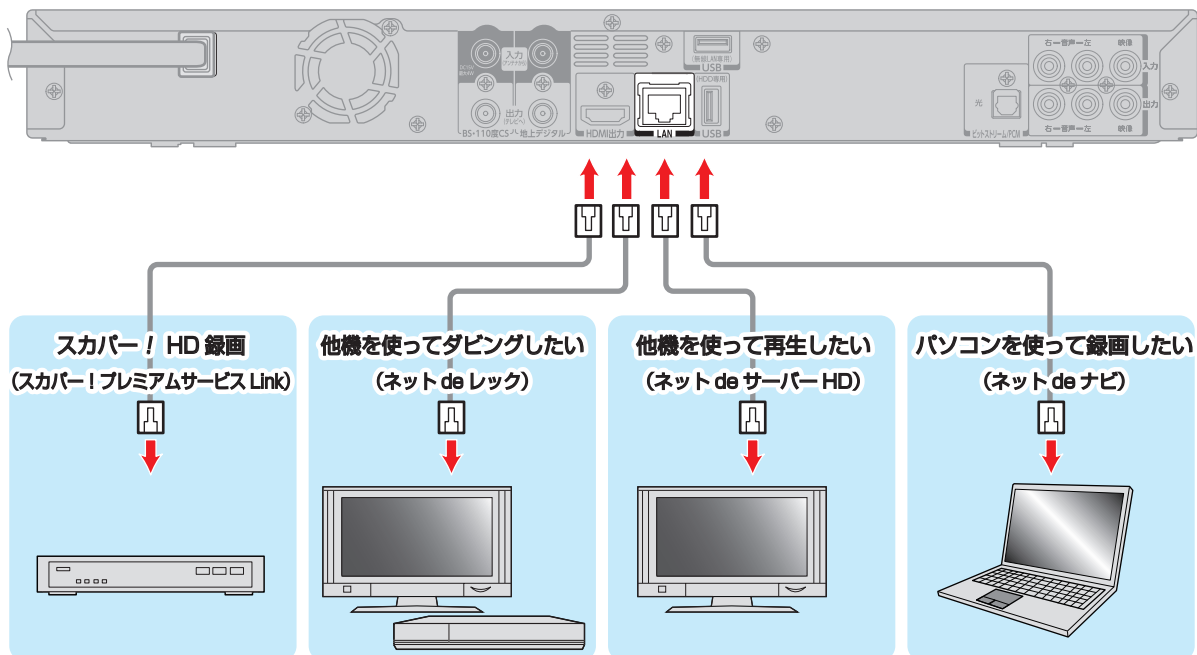
「ネットワーク接続設定」 32
「LAN（レグザリンク）連携設定」 40

パソコンを使って録画したい（ネット de ナビ）

パソコンで本機を操作し、録画することができます。

必要な設定

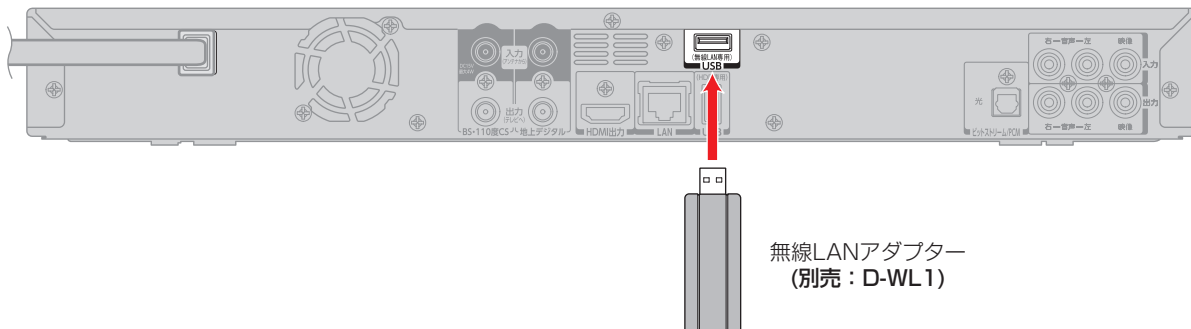
「ネットワーク接続設定」 32
「レグザリンクシェア設定」 40
「LAN（レグザリンク）連携設定」 40

本機と機器をLANケーブルで直接つなぐとき

ブロードバンド環境がない場合は、本機と機器を LAN ケーブルで直接つないでください。

- ブロードバンド環境がないと、eメールで録画予約することができません。

無線LANアダプター（別売）を使って接続する

東芝製無線 LAN アダプターを使うと、LAN ケーブルを使わずにネットワークに接続することができます。

- ブロードバンド環境があれば､左図のすべての機能を使うことができます。

- 東芝製無線LANアダプター（別売：D-WL1）以外は使用できません。

ネットワークの接続・設定する・つづき

ネットワーク接続環境

- 動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新情報は、当社ホームページでご確認ください。**http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/**
- 本機は、公衆無線LAN接続には対応していません。

ネット de ナビ機能に必要な動作環境		
パソコン DOS/V 互換パソコンまたは Macintosh コンピュータ（LAN コネクタが必要）（市販品）		
OS：	Windows® 2000 / XP / Vista / 7（日本語版） Mac OS X（10.6）（日本語版） 上記の OS 以外の環境での動作は保証していません。	
	カラーモニター：	16 ビットカラー以上、 800 × 600 ドット以上
	必要なデバイス：	LAN ポート （100Base-TX / 10Base-T）
WWW ブラウザ		
Windows® 2000 の場合：		Internet Explorer 6.0
Windows® XP の場合：		Internet Explorer 6.0/7.0
Windows® Vista の場合：		Internet Explorer 7.0/8.0
Windows® 7 の場合：		Internet Explorer 8.0
Mac OS の場合：		Safari 2.0.3

上記以降のバージョンについては、すべての動作を保証するものではありません。
ネット de ナビの機能を使うには、PC に Java VM Ver.1.5（Mac OS X は 1.4.2）がインストールされている必要があります。最新の Java Vm を入手するには、米国 Oracle Corporation の http://java.com/ja/ のサイトでご確認ください。
ネット de ナビ機能の「メール予約機能」をご使用になる場合には、以下の環境が必要です。

- インターネット常時接続環境（ブロードバンド接続必須）
- 設置場所からパソコンで送受信可能なeメールアカウント（POPサーバーおよびSMTPサーバーを使用したサービス）
- ハブ機能を持ったブロードバンドルーター（DHCP機能搭載を推奨）
- 無線LAN接続の場合、東芝製無線LANアダプター（別売：D-WL1）

用語と商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorerは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows® 2000...Microsoft® Windows 2000 Professional operating system Service Pack4（SP4）日本語版
- Windows® XP...Microsoft® Windows® XP operating system日本語版
- Windows® Vista...Microsoft® Vista operating system日本語版
- Windows® 7...Microsoft® Windosw® 7 operating system日本語版
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- Macintosh、Mac、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。
- DLNA®およびDLNA CERTIFIED™はDigital Living Network Alliance®の商標です。

制限事項

- ネットdeナビ機能は、本機をネットワークにつなぎ、本機が動作状態のときにだけ使用できます。(ネットdeナビ機能の電源待機状態でのメール予約確認機能は除く。)
- 「録画予約」を設定した場合を除き、本機能で本体側の電源を「入」にすることはできません。
- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会IEEE802.3に準拠しています。
- 本機の通信状態、またはネットdeナビ機能で本機とパソコン間の通信状態によっては、表示が遅くなったり、表示や通信にエラーが発生する場合があります。
- プロバイダ(インターネット接続事業者)側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でお支払いください。
- プロバイダ指定の回線接続機器(ADSLモデムなど)に、100Base-TX/10Base-TのLANポートがない場合は接続できません。
- ADSLでご利用いただくには、ADSLモデムが必要です。通信事業者やプロバイダが採用している接続の方式や契約の約款などによっては、本製品をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。(契約が一台に制限される場合、すでに接続されているパソコンがあると、本機を二台目として接続することが認められていないことがあります。)
- プロバイダによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
- 詳しくはご契約のプロバイダにお問い合わせください。
- ハブやルーターを利用してブロードバンド常時接続のパソコンと接続する場合は、カテゴリ5 (CAT5)と表示された規格以上のLANケーブル(ストレート)をご使用ください。
- 直接本機とパソコンを接続する場合は、市販のLANケーブル(ストレートまたはクロス)をご使用ください。
- セキュリティソフトウェア自体やその設定によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 利用制限のされていない無線LANネットワークには接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされるおそれがあります。

以下は、ネットdeナビ機能を対象とした制限事項になります。

- 本機とハブやールーターとの接続には別途、市販のLANケーブル(ストレート)をご用意ください。
- 「メール予約機能」をご利用になるには、POP3またはAPOPに対応したご家庭から接続可能なeメールのアカウントが別途必要です。携帯電話などのメールアドレスのように、ご家庭のパソコンからアクセスできないeメールのアカウントはご利用になれません。
- 本機がネットワーク経由でインターネットプロバイダのメールサーバーにアクセスできるよう、常時接続されている必要があります。
- 「メール予約機能」を利用する場合、パソコンの電源を入れておく必要はありません。
- パソコンの設定は、メールのコピーを一定期間メールサーバーに保存する設定にしてください。メールを受信したときサーバーにコピーを残さず自動削除する設定ですと、本機で予約メールを受信できないことがあります。
- 携帯電話からのメール予約には、インターネットメールを使用してください。ショートメールのような携帯電話間だけのメール機能では使用できません。
- ポータルサイトのwebメール(POP3対応していない)はメール予約の設定には使用できません。(録画予約完了通知のアドレスには設定できます。)

免責事項

- 本機機能によって接続した機器に通信障害などの不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続にできない場合、当社は一切責任を負いません。
- 火災、自身などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害(事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失、インターネット契約料金・通信費用の損失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書及び本書の記載内容を守らないことにいよって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インターネットを使用して提供されるサービスは、予告無く一時停止したり、サービス自体が終了される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

次ページへつづく

ネットワークの接続・設定する・つづき

すでにブロードバンド環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
  - 回線業者やプロバイダーとの契約
  - 必要な機器の準備
  - ADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。
  ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。
  パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- ADSL回線をご利用の場合は
  - ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター（市販）が必要です。
  - USB接続のADSLモデムなどをお使いの場合は、ADSL事業者にご相談ください。
  - プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
  - ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダーにお問い合わせください。
  - ADSLの接続については専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- FTTH（光ファイバー）回線をご利用の場合は
  - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線業者へお問い合わせください。

ブロードバンド環境をお持ちでない場合は

プロバイダーおよび回線業者と別途ご契約（有料）する必要があります。詳しくは、プロバイダーまたは回線業者にお問い合わせください。

- LANケーブルは、カテゴリー 5以上対応のストレートケーブルをご使用ください。

- LAN接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LANケーブルと同軸ケーブルを離してみてください。
- ブロードバンドルーターなどの設定で本機のMACアドレスが必要な場合は、スタートメニュー ➡「本体設定」➡「ネットワーク設定」➡「ネットワークステータス表示」画面で確認できます。操作編 91
- パソコンや外出先などから本機を遠隔操作することはできません。

ネットワークを設定する

ネットワーク機能を利用するためには、あらかじめインターネットサービスプロバイダなどとの契約とブロードバンド常時接続の環境に、本機をつなぐことが必要です。

- 本機とDLNA対応機器などを直接LANケーブルで接続する場合は、インターネットサービスプロバイダの契約は不要です。

1 スタートメニューを押して、スタートメニュー画面を表示する

2 ▲･▼･◀･▶で「本体設定」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「ネットワーク設定」を選び、決定を押す

4 ▲･▼で「ネットワーク接続設定」を選び、決定を押す

5 ▲･▼で「有線LAN」または「無線LAN」を選び、決定を押す

LANケーブルで接続しているときは

「有線 LAN」を選び、設定してください。38

無線LANアダプターで接続しているときは

「無線 LAN」を選び、設定してください。39

6 ▲･▼で「ネットdeナビ/レグザリンク連携設定」を選び、決定を押す

7 ▲･▼で「LAN（レグザリンク）連携設定」を選び、決定を押す

- 設定方法については、40をご覧ください。

タブレットなどにダビングしたい、またはeメールで録画予約したいときは

手順 7 で「レグザリンクシェア設定」を選び、決定を押してください。

- 設定方法については、40をご覧ください。

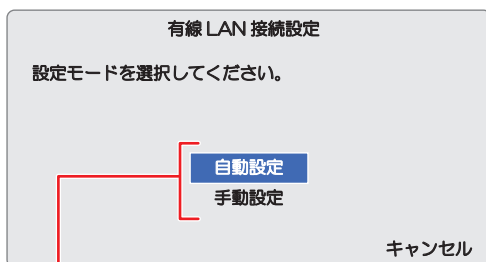
- LANケーブルで接続して「ネットワーク接続設定」の各設定を変更した際は、必ず接続テストを行ってください。
- 「有線LAN」と「無線LAN」を同時に利用することはできません。

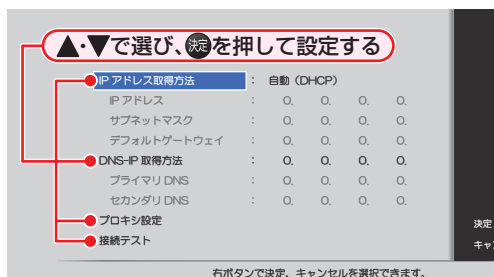
準備編　その他の設定

次ページへつづく

ネットワークの接続・設定する・つづき

「有線LAN」を設定する

1 ▲･▼で設定方法を選び、決定を押す

自動設定： 「ネットワーク接続設定」の各項目を自動で設定し、接続テストを行います。また、既に設定済みの場合は、全て初期値に戻します。

手動設定： 「手動設定」を選ぶと、各項目が表示されます。画面に従って、各項目を設定してください。

IPアドレス取得方法

● ネットワークで本機を識別するための固有の番号を設定します。

自動（DHCP）：　IPアドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイをDHCPサーバー機能で自動設定します。

手動：　IPアドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイを手動で設定します。（ルーターにDHCP機能がないなどの場合、「手動」を選んでください。）

「手動」を選んだときは

「IPアドレス」と「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を入力して下さい。

- 「IPアドレス」に関しては、パソコンに設定されているIPアドレスの最後の2桁を、お好みの数値に変更したものを入力してください。（3桁まで入力可能です。）
- 「サブネットマスク」と「デフォルトゲートウェイ」はパソコンと同じ数値を入力してください。

DNS-IP取得方法

● IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

自動（DHCP）：　プライマリ DNS/ セカンダリ DNS を DHCP サーバー機能で自動設定します。

手動：　プライマリ DNS/ セカンダリ DNS を手動で設定できます。

「手動」を選んだときは

「プライマリ DNS」と「セカンダリ DNS」を入力してください。

- 「プライマリDNS」はパソコンの優先DNSサーバーと同じ数値を入力してください。
- 「セカンダリDNS」はパソコンの代替DNSサーバーと同じ数値を入力してください。

プロキシ設定

本機をブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシ設定してください。

- 「有効」を選んだあと、「プロキシアドレス」と「ポート番号」を入力してください。

● **プロキシアドレスとは？**
ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレスです。プロバイダーから指定されるアドレスを入力します。（例：proxy_server.ne.jp）

● **プロキシポート番号とは？**
プロキシアドレスと共に、プロバイダーから指定される番号です。（例：8000）

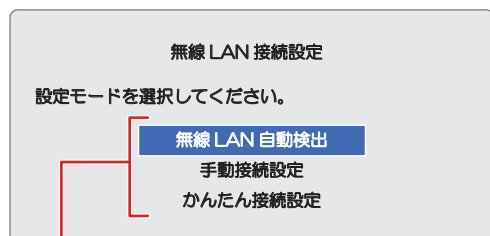
● プロキシ設定はBD-Live™機能で使用します。

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。ネットワークに接続できていないときは、エラーメッセージが表示されますので、画面の指示に従ってネットワークの設定をしなおしてください。

「無線LAN」を設定する

- 本機（背面）に接続する無線LANアダプターは、東芝製無線LANアダプター（別売：D-WL1）をお使いください。
- 無線LANをお使いになるときは、セキュリティなどで暗号化してお使いください。暗号化していないと、第三者に不正アクセスされ情報漏えいのおそれがあります。
- 無線LANネットワークのセキュリティを設定していない場合、以下の機能はお使いになれません。
  - eメールでの録画予約
  - ネットdeレック／ネットdeサーバ
  - レグザリンクシェア
- 無線LANネットワークのセキュリティレベルが低い場合（WEP）、eメールでの録画予約機能はお使いになれません。

1 ▲·▼で設定方法を選び、決定を押す

無線 LAN 自動検出：	本機が利用可能な無線 LAN アクセスポイントを検出して、設定します。
手動接続設定：	「手動接続設定」を選ぶと、各項目が表示されます。画面に従って、各項目を設定してください。
かんたん接続設定：	かんたんに無線 LAN を設定します。

無線LAN自動検出

❶ **表示された接続可能な無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲·▼で選び、決定を押す**

❷ **セキュリティキーを入力し、決定を押す**
- メッセージが表示されるので、「次へ」を選んでください。

❸ **「IPアドレス」と「DNS-IP」を設定する**
- 詳しくは、38をご覧ください。

手動接続設定

❶ **SSIDを入力して、決定を押す**

❷ **▲·▼でセキュリティを選び、決定を押す**

❸ **セキュリティキーを入力し、決定を押す**
- メッセージが表示されるので、「次へ」を選んでください。

❹ **「IPアドレス」と「DNS-IP」を設定する**
- 詳しくは、38をご覧ください。

かんたん接続設定

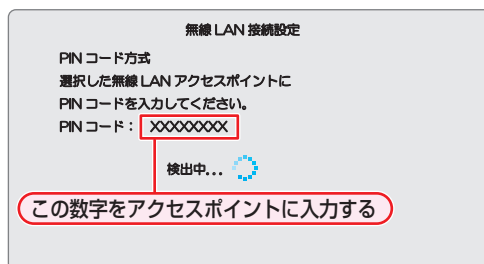
▲·▼で「プッシュボタン方式（PBC）」または「PIN コード方式」を選び、決定を押してください。

「プッシュボタン方式（PBC）」を選んだときは

画面の指示に従って、無線 LAN アクセスポイントの所定のボタンを押してください。
- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。

「PINコード方式」を選んだときは

❶ **表示された接続可能な無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲·▼で選び、決定を押す**

❷ **表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する**

- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。

- 周波数が2.4 GHzの機器（電子レンジなど）をお使いの場合、無線LANの通信が途切れることがあります。その場合は、周波数を5 GHzに変更してください。
- 無線LANの通信状態が良くない場合、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置などを変更すると、通信状態が改善されることがあります。

ネットワークの接続・設定する・つづき

LAN（レグザリンク）連携設定を設定する

ネット de ナビ機能やレグザリンク連携機能を使用するか、しないかを設定します。

1 ▲·▼で項目を選び、決定を押す

LAN（レグザリンク）連携設定

ネット de ナビ機能やレグザリンク連携機能を使用するかしないかの設定をします。
「使用する」に設定すると、
「待機設定」が「通常待機」に固定されます。
待機中も各機能が使用できます。

使用する
使用しない

使用する：　サーバ機能を使用します。また、使用中に本機の電源を「切」にしても、配信を続けます。

使用しない：　サーバ機能を使用しません。

- 「使用する」に設定すると、「待機設定」が自動的に「通常待機」になります。

レグザリンクシェアを設定する

スマートフォンやタブレットなどの端末機器から、本機を操作することができます。

1 ▲·▼で項目を選び、決定を押す

ユーザー名：　端末機器から本機にアクセスするための ID を設定します。

パスワード：　端末機器から本機にアクセスするためのパスワードを設定します。

ポート番号：　通常は設定を変える必要はありません。機能の一部が働かないときに、【2000】～【10000】の間で変更してください。

アクセス制限を設定する

本機にアクセスできる機器を制限するか、しないかを設定します。

制限する：　本機にアクセスできる機器を制限します。

制限しない：　アクセスを制限しません。

「制限する」を選んだときは

本機にアクセスできる機器を選んで、決定を押してください。

- 決定を押すたびにチェックあり（☑）、なし（□）が切り換わります。

デバイスネームを設定する

ネットワーク上で表示される本機の名前を設定します。

ネットdeナビを設定する

ネット de ナビを使うパソコン側の設定は、OS の種類によって異なりますので、詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。以下は、Windows® 7 を例に説明しています。

● eメールで録画予約したいときは、ネットdeナビを設定したあとに、「メール録画予約機能」を設定してください。42

● ネットdeナビの設定中にブラウザの「戻る」ボタンを押さないでください。「戻る」ボタンを使うと、設定や表示が正しく行われない場合があります。

1 ネットdeナビ対応のブラウザを起動する

2 アドレスに「http://○○○」を入力して、パソコンの「ENTER」を押す

- 「○○○」には、本機の機種名を入力してください。
- ネットdeナビが起動します。

3 「ネットdeナビ設定」をクリックする

4 「メール録画予約機能」を設定する

- 各項目の内容については、42 をご覧ください。

5 設定が終わったら、「登録」をクリックする

本機とパソコンをLANケーブルで直接接続しているときは

あらかじめ、パソコンで以下の設定をしてください。

❶「コントロールパネル」➡「ネットワークとインターネット」➡「ネットワークと共有センター」➡「アダプターの設定の変更」➡「ローカルエリア接続」の「プロパティ」をクリックする

❷「インターネット プロトコル バージョン4(TCP/IPv4)」をクリックする

「次のIPアドレスを使う」を選び、IPアドレスとサブネットマスクを設定してください。(すでに値が設定されているときには、設定を戻せるようにその値をメモに残しておくことをおすすめします。)

IPアドレス：
「192.168.1.10」を入力してください。

サブネットマスク：
「255.255.255.0」を入力してください。

❸「OK」をクリックする

● ネットdeナビの操作方法は、以下のホームページをご覧ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

ネットワークの接続・設定する・つづき

メール録画予約機能の設定

メール録画予約機能	メール録画予約機能を使うかどうかを設定します。
メール予約パスワード	予約メールとして判別するためのパスワードを設定します。
POP3 サーバアドレス	ご利用のプロバイダの POP3 サーバーアドレスを設定します。
POP3 ユーザー名	ご利用のプロバイダの POP3 サーバーにアクセスするときのユーザー名を設定します。
POP3 パスワード	ご利用のプロバイダの POP3 サーバーにアクセスするときのパスワードを設定します。
APOP	APOP を使うかどうかを設定します。
電源 ON 時の POP3 アクセス間隔	予約メールをチェックする時間間隔を設定します。（電源 ON 時）
電源 OFF 時の POP3 アクセス時間の分	予約メールをチェックする時間間隔を設定します。（電源 OFF 時）
メール録画予約時アドレスフィルタリング	予約メールのフィルタリングをするかしないかを設定します。
フィルタアドレス	フィルタリングで受け付ける予約メールのアドレスを設定します。
メール通知機能	メール録画予約が完了したときの通知方法を設定します。
失敗しそうな予約の通知	録画に失敗しそうな予約をメールで知らせるかどうかを設定します。（本機能は目安です。失敗しそうな予約全てをお知らせするものではありません。）
おまかせ自動予約の通知	「おまかせ自動録画」の録画予約をメールで知らせるかどうかを設定します。
SMTP サーバ アドレス	SMTP サーバーのアドレスを設定します。
SMTP サーバ ポート番号	SMTP サーバーのポート番号を設定します。
SMTP サーバ認証	SMTP サーバーの認証方法を設定します。
SMTP ユーザー名	SMTP サーバーのユーザー名を設定します。
SMTP パスワード	SMTP サーバーのパスワードを設定します。
メールアドレス	プロバイダのメールサービスのメールアドレスを設定します。
メール通知用の指定アドレス	メール録画予約の完了をお知らせするメールアドレスを設定します。

その他の設定

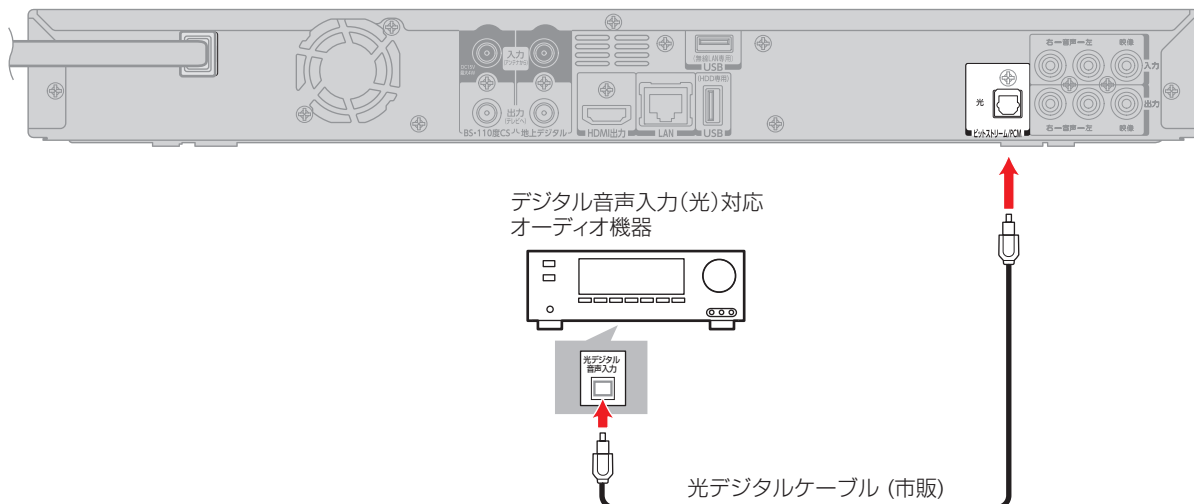
MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。

- ご利用のプロバイダによっては、メール予約ができない場合があります。
- ルーターによっては、DHCPによって割り振られるIPアドレスが頻繁に変わる場合があります。
- プロキシが設定されていると、アクセスできない場合があります。
- 本体側が動作中のときは、ネットdeナビが操作できても設定できない場合があります。

AV アンプとつなぐ

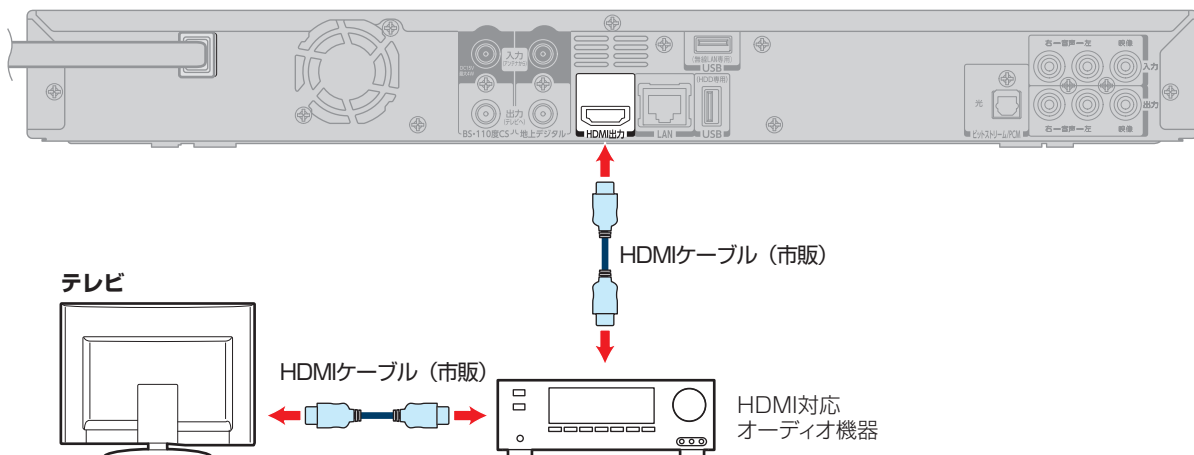
光デジタルケーブルを使って接続する

デジタル音声入力対応のオーディオ機器と接続すると、デジタル放送のマルチチャンネル音声などを楽しむことができます。

本機背面

HDMIケーブルを使って接続する

- PCM7.1ch対応のアンプと接続すると、BD-Videoの7.1ch音声を楽しむことができます。
  また、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD®の各音声をデコードできるアンプと接続すると､それぞれの音声を楽しむことができます｡(この接続をした場合､テレビから音声が出ないことがありますので､アンプに接続したスピーカーなどから出力してください｡詳しくは、AVアンプやテレビの取扱説明書をご覧ください｡)
- HDMIケーブルは、HDMIロゴのあるHigh Speed HDMIケーブル (市販) をお使いください。

本機背面

ご注意

- 本機とデジタル音声入力対応のオーディオ機器やHDMI対応アンプなどを接続したときは､準備完了後､接続機器に合わせて｢本体設定｣画面の｢音声設定｣の設定を変更してください｡操作編 88
  正しく設定しないと､音声にノイズが発生したり音が出なくなったりすることがあります。

レグザリンク機能について

レグザリンク・コントローラとは？

レグザリンク機能とは、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使用した HDMI で規格化されているテレビなどを制御するための機能です。CEC 規格に準拠した機器と接続したときは、一部の連動操作が行えますが、当社製レグザリンク対応の REGZA シリーズ機種以外については動作を保証するものではありません。

- HDMI CECは、HDMIケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

以下のような連動動作ができます。（操作の手間が省けて便利です。）

- 本機の電源を入れて以下の操作を行うと 、テレビが自動的に本機が接続されているHDMI入力に切り換わります。
  - 再生 を押す
  - 番組表 を押す
  - 見るナビ を押す
- テレビの番組表を使って、本機に録画予約できます。
- HDDやDISCを再生視聴中にテレビのチャンネルを変更すると、再生していたHDDやDISCは自動的に停止状態になります。
- テレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。ただし、HDD/DISCのいずれかが録画中の場合や、本機が起動処理中の場合は電源が切れません。

レグザリンク対応のREGZA シリーズ機種について

対応機種については、http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/ をご覧ください。

- 他社のHDMI CEC対応機器で、本機と部分的に連動動作する場合もありますが、レグザリンク対応機種以外はその動作を保証するものではありません。
- 接続機器によってはお客様の意図しない動作をする場合があります。このようなときは「レグザリンク・コントローラ」を「切」にしてください。（「おかしいな？と思ったときの調べかた」操作編 117 をご覧ください。）

レグザリンク機能を設定する

レグザリンク機能を使うには、以下の手順を行って「レグザリンク・コントローラ」の設定を「入」にしてください。

≫ 準備

- **本機と当社製レグザリンク対応テレビをつないでおく（接続のしかたは 10 をご覧ください。）**
- **テレビ側でレグザリンクの設定をしておく（詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。）**

1 **スタートメニュー を押し、「本体設定」➡「HDMI接続設定」➡「レグザリンク・コントローラ」➡「入」の順に選び、決定 を押す**

（操作編 89 をご覧ください。）

- 「レグザリンク・コントローラ」はテレビではレグザリンク（HDMI連動）と呼んでいる場合があります。

準備編 その他の設定

レグザリンクダビングとは？

本機能に対応している東芝テレビで録画した映像を、ネットワークを使って本機に送り、ダビングするものです。対応機種については、http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/ をご覧ください。

- 操作について詳しくは、操作編 76 をご覧ください。
- テレビの設定や操作について、詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

LANケーブルで接続する

1 本機とテレビをLANケーブルで接続する 32

2 ネットワークを設定する 37

3 「LAN（レグザリンク）連携設定」を設定する 40

4 「レグザリンクシェア設定」を設定する 40

5 テレビ側で必要な設定をする

- 詳しくは、接続するテレビの取扱説明書をご覧ください。

使用上のお願い

免責事項について

- 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップ（操作不能）などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

HDD（内蔵ハードディスク）、USB-HDD（外付けハードディスク）、およびDISCドライブについての重要なお願い

- 本機にはハードディスク（HDD）が内蔵されています。
- USB-HDDを本機に接続して使用することもできます。
- これらのHDDは衝撃や振動、温度などの周囲の環境の変化による影響を受けやすく、記録されているデータが損なわれることがありますので以下のことにお気をつけください。
  - 振動や衝撃を与えないでください。（特に動作中）
  - 振動する場所や不安定な場所で使用しないでください。
  - 本機は水平に置いてください。USB-HDDは、メーカーの指示に従って置いてください。
  - 背面の内部冷却用ファンの通風孔を、ふさがないでください。
  - 温度の高いところや急激な温度変化のある場所では使用しないでください。
  - 電源を入れたままの状態で電源プラグをコンセントから抜かないでください。
  - 録画や再生の動作中に電源プラグをコンセントから抜いたり、本機設置場所のブレーカーを落としたりしないでください。電源プラグは、必ず電源ボタンを押して、終了処理が終わり、完全に電源が切れてから抜くようにしてください。録画中に電源プラグを抜いたりブレーカーを落としたりすると、これまで記録されたデータはすべて失われることがあります。
  - 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、喪失について、当社は一切の責任を負いません。
- HDDは非常に精密な機器で、使用状況によっては部分的な破損や、最悪の場合データの読み書きができなくなるおそれも十分にあります。このためHDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではなく、あくまでも一度見るまでの、または編集したあとに、ディスクなどにダビングするまでの、一時的な保管場所として使用してください。
- また、HDD内に壊れかけている部分があると、録画した場合には、その部分にブロックノイズ（四角いノイズ）が出たり、音声の乱れが発生することがあります。そのまま放置すると、ノイズや乱れが激しくなってきて、最悪の場合、HDD 全体が使えなくなってしまうおそれがあります。こうした現象が見られたら、できるだけ早い時期に各ディスクにダビングしてください。パソコンと同様に、HDDは壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。ディスクなどへのバックアップを前提のうえで使用してください。

日本国内用です

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。
  This recorder is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

取扱いに関すること

- 非常時を除いて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 「瞬速起動」を設定している時間帯はコンセントは抜かないでください。故障の原因となります。
- 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動をあたえないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因になります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取扱ってください。

使用しないときは

- ふだん使用しないとき
  ディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
- 長期間使用しないとき
  電源プラグを抜いてください。

置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機をテレビやラジオなどの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因になります。

お手入れに関すること

- お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本体のよごれはやわらかい布(ガーゼ等)で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。
- ベンジンやシンナー等有機溶剤、石油類は絶対に使用しないでください。本体表面を変質させます。
- 油汚れ等が付いたときは、弱い中性洗剤を薄めたものを柔らかい布に含ませたものを固く絞って使用し、その後、温水を含ませて固く絞った布で十分に拭き取ってください。ただし、わずかに表面が変質する事がありえる事は予めご承知ください。

クリーニングディスクについて

- 市販のレンズクリーナーやレンズクリーニングディスクは、本機では使わないでください。

アンテナについて

- 画像や音声はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。
- 本機を接続した場合、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなることがあります。この場合は購入店にご相談されるか、市販のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをご使用になる場合は、アンテナブースターの説明書をご覧ください。
- 設置場所や電波障害の影響がある場合には改善されません。
- 接続ケーブルやコネクターの接触不良が無いように十分確認してください。

地上デジタル放送について

- 地上デジタル放送を受信するには、本機のほかに地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。(ほかに混合器や分波器が必要な場合もあります。)
- 地上デジタル放送の特長
  ① デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質・多チャンネル放送
  ② 高音質放送(MPEG-2 AAC 方式)
  ③ ゴーストの影響を受けにくいので、画像が鮮明
  ④ データ放送や双方向通信サービス
  (通常の番組に加えて、地域に密着したニュースや天気予報などのデータ放送が予定されています。また、インターネット回線を使った双方向通信サービスによって、オンラインショッピングや視聴者参加型のクイズ番組なども予定されています。)
  ⑤ 移動体受信・部分受信サービス
  (本機では部分受信サービスは受信できません。)

次ページへつづく

使用上のお願い・つづき

放送、通信サービスについて

- 放送や通信サービス(インターネットを利用した映像配信サービス、その他の放送・通信サービスなど)は、予告なしに放送事業者や通信事業者などによって一時的に中断されたり、内容が変更されたり、サービス自体が終了されたりする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

ディスクトレイについて

- ディスクトレイの開閉は、本体またはリモコンのボタン操作で行ってください。手で押して閉じたり、動いているディスクトレイに触れたりすると、故障の原因になります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものをディスクトレイに入れないでください。または、ディスクトレイ上から押したり、ものを置いたりしないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイに入れられるのは1枚だけです。2枚など、複数のディスクを入れると故障の原因となります。
- ディスクトレイの開閉時に異常がある場合は、保護機能によって自動的に止まります。
- 本機で使用したときに異常を示すメッセージが出るディスクを、本機以外の機器で使用すると、ディスク内部のデータを破損し、再生できなくなることがありますので、ご注意ください。

音量について

- 市販のBD/DVD-Videoの中には、音量が音楽CDなどの他のソフトよりも小さく感じられる場合があります。これらのディスクの再生のためにテレビやアンプ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。

たいせつな録画・録音・編集について

- たいせつな録画・録音・編集の場合は、事前に試し録画・録音・編集を行い、正しくできることを確かめておいてください。本機およびディスクを使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作中に電源プラグを抜くと、記録内容がすべて消える場合がありますので、ご注意ください。
- 悪天候による電波の受信状態や、放送チャンネルおよび番組によっては、映像が乱れたり、音が割れたり、飛んだりすることがあります。
- 放送番組によっては録画制限(録画禁止など)があるものがあります。この場合、予約をしても録画が実行できない場合があります。
- たいせつな録画をされたディスクの定期的なバックアップをおすすめします。ディスクの経年変化によってはデジタル信号が読み出せなくなったり、消えてしまったりする場合があります。ただし、著作権保護のため1 回だけ録画が可能な番組(コピーワンスプログラム)などの録画はバックアップをとることはできません。

停電について

- 本機の録画中に停電があった場合その内容は保存されない場合があります。また、録画以外の操作をしているときに停電があった場合も、保存済みの内容が読み出せなくなることがあります。
- USB-HDD への予約録画中に停電があった場合、接続機器によっては停電復帰後の予約録画の続きはHDD へ録画する場合があります。
- 停電復帰後に、時計表示が「－－ ： －－」になっている場合は、時計を合わせてください。

本体前面の電源ランプが点灯(橙)したときは

- デジタル放送用の番組表の番組情報を取得中、またはダウンロード更新中です。
- 番組情報や番組データを取得中以外にも、情報整理をするために点灯することがあります。
- 番組情報や番組データを取得中は、冷却用ファンが回るなどで動作音が大きくなりますが、故障ではありません。

再生するときの制約

- 付属の取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。市販のBD/DVD-Videoなどは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生をするため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。
- ボタン操作中にテレビ画面に「⃠」が表示されることがあります。「⃠」が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作ができないことを示します。

録画・録音するときの制約

- 本機では、DVDには直接録画できません。
- 市販されているコピーが禁止されたBD/DVD-Video、音楽用CDの内容を、本機でコピーすることはできません。録画・録音が制限されていないものは、個人使用の範囲内でだけ、コピーや編集ができます。1回だけ録画が可能な映像(コピーワンス)や複数回コピー可能な映像(ダビング10)※1は、HDD、USB-HDD(外付け)またはBD-RE/-Rに録画できますが、DVD-RW/-R(ビデオフォーマット)への録画はできません。(CPRM※2対応のDVD-RW/-R(VRフォーマット/AVCREC™フォーマット)にはダビングできます。)BD/DVD-Videoにはダビング(移動やコピー)できません。HDDに録画したコピーワンスの映像は、USB-HDD(外付け)やBD-RE/-RまたはCPRM※2対応のDVD-RW/-R(VRフォーマット/AVCREC™フォーマット)へのダビング(移動)は可能ですが、ダビング(コピー)はできません。HDDに録画したダビング10タイトルは、USB-HDD(外付け)やBD-RE/-RまたはCPRM※2対応のDVD-RW/-R(VRフォーマット/AVCREC™フォーマット)へのダビング(移動またはコピー)が可能ですが、回数制限があります。コピーワンス、ダビング10ともにダビングの際やその他の編集制限があります。

※1 ダビング 10 及び条件については、51 をご覧ください。

※2 CPRM や各ディスクについては、操作編 94 をご覧ください。

ソフトウェアの変更について

- 本機は品質について万全を期しておりますが、本体内部のソフトウェアを変更して、品質や性能をさらに改善する場合があります。その場合、ユーザー登録をしていただいたお客様にはご案内をさせていただきますので、ユーザー登録にご協力いただきますよう、お願いいたします。
- 本機の「自動ダウンロード」を「自動更新する」の状態に設定しておくと、放送電波(地上デジタル放送またはBSデジタル放送を受信できる環境と設定が必要です)の中に入れられたソフトウェアを受信することによって、自動的にソフトウェアをバージョンアップさせることができます。(お買い上げ時は、「自動更新する」の状態に設定されています。)
- ソフトウェアのバージョンアップや「自動ダウンロード」については、23 をご覧ください。ソフトウェアのバージョンアップ中は電源を切ったり電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

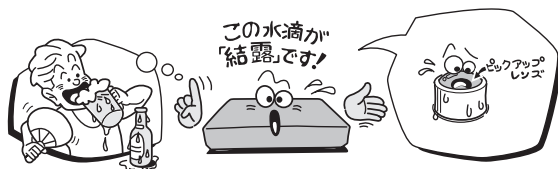
HDMI連動機能(レグザリンク機能)について

- 推奨機器以外の機器を本機のHDMI出力端子に接続した場合に、本機がHDMI連動対応機器として認識し、一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証いたしかねます。

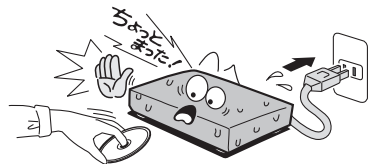
インターネット機能について

- インターネットの利用には、ADSL、ケーブルテレビなどのインターネット回線事業者および接続業者(プロバイダー)との契約が必要です。契約、費用などについては、お買い上げの販売店また接続業者などにご相談ください。
- 本機でインターネットが使用できるのは、イーサネット通信のみです。ダイヤルアップやISDNなどには対応していません。
- 回線の接続環境や接続先のサーバーの状況などによっては、正しく動作しない場合があります。

結露(露付き)について

- 結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください
例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露(露付き)”といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

- “結露”はこんなときおきます
  - 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
  - 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
  - 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
  - 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください

- 結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

使用上のお願い・つづき

本機の廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則にしたがってください。
- 本機には、各種機能の設定時に入力したお客様の個人情報が記録されます。本機を廃棄・譲渡などする場合には、各種「初期化」操作編 92 を行い、パスワードや個人情報なども含めて、初期化することをおすすめします。なお、放送番組などを録画・保存したままで譲渡すると、著作権を侵害するおそれがありますのでご注意ください。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、または故障・修理のときなどに本機に保存されたデータなどが変化・消失するおそれがあります。これらの場合について、当社は責任を負いません。
- B-CASカードの廃棄に関しては「B-CASカード使用許諾契約約款」にしたがってください。

著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。
- 本機は、Rovi Corporationならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はRovi Corporationの認可が必要であり、Rovi Corporationの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
- 本機は、コピーガード(複製防止)機能を搭載しており、著作権者などによって複製を制限するコピー制御信号が記録されているソフトや放送番組を録画することはできません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

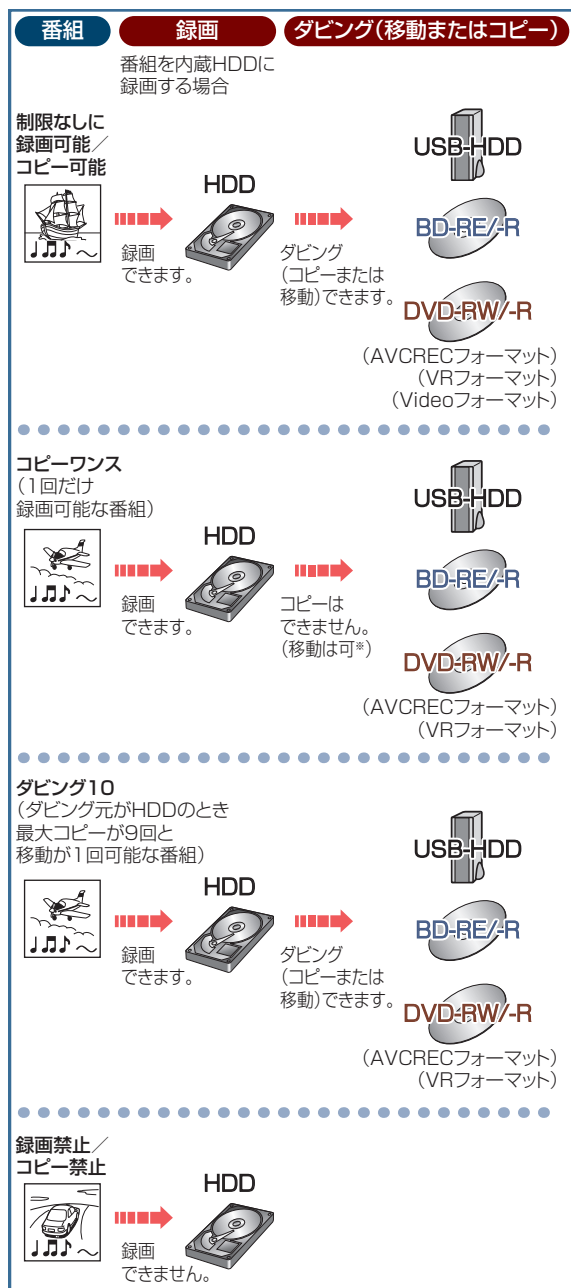
- DTSは、DTS, Inc.の登録商標です。DTS-HD Master Audio | Essentialは、DTS, Inc.の商標です。
  Manufactured under license under U.S. Patent Nos: 5,956,674; 5,974,380; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS-HD, the Symbol, & DTS-HD and the Symbol together are registered trademarks & DTS-HD Master Audio | Essential is a trademark of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

- Blu-ray Disc™ (ブルーレイディスク)、Blu-ray™ (ブルーレイ)、Blu-ray 3D™ (ブルーレイ3D)、BD-Live™、BONUSVIEW™、BDXL™、AVCREC™及び関連ロゴはブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- Oracle と Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- “AVCHD 3D/Progressive”および“AVCHD 3D/Progressive”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “x.v.Color”および“x.v.Color”ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License およびVC-1Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - AVC 規格に準拠する動画を記録する場合
  - 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC 規格に準拠する動画およびVC-1 規格に準拠する動画を再生する場合
  - ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC 規格に準拠する動画およびVC-1 規格に準拠する動画を再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, LLC
  (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- この製品はVerance Corporation (ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。Copyright 2004-2012 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。
  リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。
- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

ダビング10番組について

本機では、DVD には直接録画できません。

ダビング 10 番組 (以下、ダビング 10) とは、デジタル放送でダビング元がHDDのときに、ダビングが最大 10回(コピー 9 回と移動 1 回)できる番組のことです。

● 2004年4月から、地上/BSデジタル放送の番組が、コピー制限のある番組とされています。

※ ダビングについて詳しくは、操作編 64 ～ 79 をご覧ください。

参考資料

アスペクト比(画面比)について

アスペクト比とは、映像を構成する画面（映像）サイズの幅と高さの比で、4：3 放送とワイド（16：9）放送があります。本機と接続するテレビに合わせて、「本体設定」の「TV 画面選択」を設定してください。操作編 87

● 16：9のテレビに接続するときは、HDMIケーブルで接続してください。

接続するテレビ	「TV 画面選択」	画面の見えかた（上：4：3 放送の場合、下：ワイド放送の場合）
16：9 のテレビ	「4：3 レターボックス」	画面全体に表示します。
		上下方向に黒い帯を表示します。
	「4：3 パンスキャン」	画面全体に表示します。
		左右を一部カットして表示します。
	「16：9 ワイド」	画面全体に表示します。
		正しく表示します。
	「16：9 シュリンク」	4：3 を維持して、縮小表示します。
		正しく表示します。
4：3 のテレビ	「4：3 レターボックス」	正しく表示します。
		上下方向に黒い帯を表示します。
	「4：3 パンスキャン」	正しく表示します。
		左右を一部カットして画面全体に表示します。
	「16：9 ワイド」	正しく表示します。
		16：9 を 4：3 に縮小表示します。
	「16：9 シュリンク」	縮小表示します。
		16：9 を 4：3 に縮小表示します。

● 16：9テレビに接続するときは、「16：9シュリンク」に設定することをおすすめします。
● 4：3テレビに接続するときは、「4：3レターボックス」に設定することをおすすめします。

● HDMI 端子から 1080i/720p/1080p/1080p24 で出力している場合は、「TV画面選択」の設定にかかわらず、「16：9シュリンク」のみ有効になります。
● 市販のBD/DVD-Video再生時は、設定に関わらず、4：3パンスキャンでも、4：3レターボックスとして表示されることがあります。
● 放送内容や再生するタイトルによっては、この表のとおりに映像が表示されない場合があります。

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本内容はライセンス情報のため、操作には関係ありません。

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。

本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下､「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントのお問い合わせに関しては、以下のホームページをご覧いただくようお願いいたします。

ホームページアドレス

http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

また､本機のソフトウェアコンポーネントには､本機用に開発または作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェアおよびそれに付帯したドキュメント類には、著作権法、国際条約条項および他の準拠法によって保護されています。

なお､「EULA」の適用を受けない本機用に作成したソフトウェアコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本機は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし､「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお､ここでいう損害には､通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、またはその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません)。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本機に組み込まれた｢EULA｣の対象となるソフトウェアコンポーネントは､以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文を記載します。

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント 原文

Program name	EULA
linux	Exhibit A
busybox	Exhibit A
dhcpcd	Exhibit A
wpa_supplicant	Exhibit A
e2fsprogs	Exhibit A
directfb	Exhibit B

Program name	EULA
glibc	Exhibit B
gmp	Exhibit B
libexif	Exhibit B
FLAC	Exhibit C
Tremor	Exhibit C
Oniguruma	Exhibit C

Program name	EULA
universalchardet	Exhibit D
expat	Exhibit E
giflib	Exhibit E
libxml2	Exhibit E
cURL	Exhibit E
Free Type	Exhibit F

Program name	EULA
LibJPEG	Exhibit F
Open SSL	Exhibit F
Vera Fonts	Exhibit F
TIFF	Exhibit F

- Reverse engineering, disassembling, decompiling, dismantling, or otherwise attempting to analyze or modify the software included in this product is prohibited.

Exhibit A

GPL

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

   You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

   b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

   c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

   a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

   b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

   c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

   The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

   If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

   If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

   It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

   This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the program's name and an idea of what it does.
Copyright (C) yyyy name of author

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

Exhibit B

LGPL

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages-- typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

次ページへつづく

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.> Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

Exhibit C

BSD

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

次ページへつづく

Exhibit D

MPL

MOZILLA PUBLIC LICENSE
Version 1.1

----

1. Definitions.

1.0.1. "Commercial Use" means distribution or otherwise making the Covered Code available to a third party.

1.1. "Contributor" means each entity that creates or contributes to the creation of Modifications.

1.2. "Contributor Version" means the combination of the Original Code, prior Modifications used by a Contributor, and the Modifications made by that particular Contributor.

1.3. "Covered Code" means the Original Code or Modifications or the combination of the Original Code and Modifications, in each case including portions thereof.

1.4. "Electronic Distribution Mechanism" means a mechanism generally accepted in the software development community for the electronic transfer of data.

1.5. "Executable" means Covered Code in any form other than Source Code.

1.6. "Initial Developer" means the individual or entity identified as the Initial Developer in the Source Code notice required by Exhibit A.

1.7. "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.

1.8. "License" means this document.

1.8.1. "Licensable" means having the right to grant, to the maximum extent possible, whether at the time of the initial grant or subsequently acquired, any and all of the rights conveyed herein.

1.9. "Modifications" means any addition to or deletion from the substance or structure of either the Original Code or any previous Modifications. When Covered Code is released as a series of files, a Modification is:
A. Any addition to or deletion from the contents of a file containing Original Code or previous Modifications.

B. Any new file that contains any part of the Original Code or previous Modifications.

1.10. "Original Code" means Source Code of computer software code which is described in the Source Code notice required by Exhibit A as Original Code, and which, at the time of its release under this License is not already Covered Code governed by this License.

1.10.1. "Patent Claims" means any patent claim(s), now owned or hereafter acquired, including without limitation, method, process, and apparatus claims, in any patent Licensable by grantor.

1.11. "Source Code" means the preferred form of the Covered Code for making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated interface definition files, scripts used to control compilation and installation of an Executable, or source code differential comparisons against either the Original Code or another well known, available Covered Code of the Contributor's choice. The Source Code can be in a compressed or archival form, provided the appropriate decompression or de-archiving software is widely available for no charge.

1.12. "You" (or "Your") means an individual or a legal entity exercising rights under, and complying with all of the terms of, this License or a future version of this License issued under Section 6.1. For legal entities, "You" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with You. For purposes of this definition, "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of more than fifty percent (50%) of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. Source Code License.

2.1. The Initial Developer Grant.
The Initial Developer hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, subject to third party intellectual property claims:
(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Initial Developer to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Original Code (or portions thereof) with or without Modifications, and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patents Claims infringed by the making, using or selling of Original Code, to make, have made, use, practice, sell, and offer for sale, and/or otherwise dispose of the Original Code (or portions thereof).

(c) the licenses granted in this Section 2.1(a) and (b) are effective on the date Initial Developer first distributes Original Code under the terms of this License.

(d) Notwithstanding Section 2.1(b) above, no patent license is granted: 1) for code that You delete from the Original Code; 2) separate from the Original Code; or 3) for infringements caused by: i) the modification of the Original Code or ii) the combination of the Original Code with other software or devices.

2.2. Contributor Grant.
Subject to third party intellectual property claims, each Contributor hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Contributor, to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Modifications created by such Contributor (or portions thereof) either on an unmodified basis, with other Modifications, as Covered Code and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patent Claims infringed by the making, using, or selling of Modifications made by that Contributor either alone and/or in combination with its Contributor Version (or portions of such combination), to make, use, sell, offer for sale, have made, and/or otherwise dispose of: 1) Modifications made by that Contributor (or portions thereof); and 2) the combination of Modifications made by that Contributor with its Contributor Version (or portions of such combination).

(c) the licenses granted in Sections 2.2(a) and 2.2(b) are effective on the date Contributor first makes Commercial Use of the Covered Code.

(d) Notwithstanding Section 2.2(b) above, no patent license is granted: 1) for any code that Contributor has deleted from the Contributor Version; 2) separate from the Contributor Version; 3) for infringements caused by: i) third party modifications of Contributor Version or ii) the combination of Modifications made by that Contributor with other software (except as part of the Contributor Version) or other devices; or 4) under Patent Claims infringed by Covered Code in the absence of Modifications made by that Contributor.

3. Distribution Obligations.

3.1. Application of License.
The Modifications which You create or to which You contribute are governed by the terms of this License, including without limitation Section 2.2. The Source Code version of Covered Code may be distributed only under the terms of this License or a future version of this License released under Section 6.1, and You must include a copy of this License with every copy of the Source Code You distribute. You may not offer or impose any terms on any Source Code version that alters or restricts the applicable version of this License or the recipients' rights hereunder. However, You may include an additional document offering the additional rights described in Section 3.5.

3.2. Availability of Source Code.
Any Modification which You create or to which You contribute must be made available in Source Code form under the terms of this License either on the same media as an Executable version or via an accepted Electronic Distribution Mechanism to anyone to whom you made an Executable version available; and if made available via Electronic Distribution Mechanism, must remain available for at least twelve (12) months after the date it initially became available, or at least six (6) months after a subsequent version of that particular Modification has been made available to such recipients. You are responsible for ensuring that the Source Code version remains available even if the Electronic Distribution Mechanism is maintained by a third party.

3.3. Description of Modifications.
You must cause all Covered Code to which You contribute to contain a file documenting the changes You made to create that Covered Code and the date of any change. You must include a prominent statement that the Modification is derived, directly or indirectly, from Original Code provided by the Initial Developer and including the name of the Initial Developer in (a) the Source Code, and (b) in any notice in an Executable version or related documentation in which You describe the origin or ownership of the Covered Code.

3.4. Intellectual Property Matters
(a) Third Party Claims.
If Contributor has knowledge that a license under a third party's intellectual property rights is required to exercise the rights granted by such Contributor under Sections 2.1 or 2.2, Contributor must include a text file with the Source Code distribution titled "LEGAL" which describes the claim and the party making the claim in sufficient detail that a recipient will know whom to contact. If Contributor obtains such knowledge after the Modification is made available as described in Section 3.2, Contributor shall promptly modify the LEGAL file in all copies Contributor makes available thereafter and shall take other steps (such as notifying appropriate mailing lists or newsgroups) reasonably calculated to inform those who received the Covered Code that new knowledge has been obtained.

(b) Contributor APIs.
If Contributor's Modifications include an application programming interface and Contributor has knowledge of patent licenses which are reasonably necessary to implement that API, Contributor must also include this information in the LEGAL file.

(c) Representations.
Contributor represents that, except as disclosed pursuant to Section 3.4(a) above, Contributor believes that Contributor's Modifications are Contributor's original creation(s) and/or Contributor has sufficient rights to grant the rights conveyed by this License.

3.5. Required Notices.
You must duplicate the notice in Exhibit A in each file of the Source Code. If it is not possible to put such notice in a particular Source Code file due to its structure, then You must include such notice in a location (such as a relevant directory) where a user would be likely to look for such a notice. If You created one or more Modification(s) You may add your name as a Contributor to the notice described in Exhibit A. You must also duplicate this License in any documentation for the Source Code where You describe recipients' rights or ownership rights relating to Covered Code. You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf, and not on behalf of the Initial Developer or any Contributor. You must make it absolutely clear than any such warranty, support, indemnity or liability obligation is offered by You alone, and You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of warranty, support, indemnity or liability terms You offer.

3.6. Distribution of Executable Versions.
You may distribute Covered Code in Executable form only if the requirements of Section 3.1-3.5 have been met for that Covered Code, and if You include a notice stating that the Source Code version of the Covered Code is available under the terms of this License, including a description of how and where You have fulfilled the obligations of Section

3.2. The notice must be conspicuously included in any notice in an Executable version, related documentation or collateral in which You describe recipients' rights relating to the Covered Code. You may distribute the Executable version of Covered Code or ownership rights under a license of Your choice, which may contain terms different from this License, provided that You are in compliance with the terms of this License and that the license for the Executable version does not attempt to limit or alter the recipient's rights in the Source Code version from the rights set forth in this License. If You distribute the Executable version under a different license You must make it absolutely clear that any terms which differ from this License are offered by You alone, not by the Initial Developer or any Contributor. You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of any such terms You offer.

3.7. Larger Works.
You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In such a case, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code.

4. Inability to Comply Due to Statute or Regulation.

If it is impossible for You to comply with any of the terms of this License with respect to some or all of the Covered Code due to statute, judicial order, or regulation then You must: (a) comply with the terms of this License to the maximum extent possible; and (b) describe the limitations and the code they affect. Such description must be included in the LEGAL file described in Section 3.4 and must be included with all distributions of the Source Code. Except to the extent prohibited by statute or regulation, such description must be sufficiently detailed for a recipient of ordinary skill to be able to understand it.

5. Application of this License.

This License applies to code to which the Initial Developer has attached the notice in Exhibit A and to related Covered Code.

6. Versions of the License.

6.1. New Versions.
Netscape Communications Corporation ("Netscape") may publish revised and/or new versions of the License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number.

6.2. Effect of New Versions.
Once Covered Code has been published under a particular version of the License, You may always continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Covered Code under the terms of any subsequent version of the License published by Netscape. No one other than Netscape has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License.

6.3. Derivative Works.
If You create or use a modified version of this License (which you may only do in order to apply it to code which is not already Covered Code governed by this License), You must (a) rename Your license so that the phrases "Mozilla", "MOZILLAPL", "MOZPL", "Netscape", "MPL", "NPL" or any confusingly similar phrase do not appear in your license (except to note that your license differs from this License) and (b) otherwise make it clear that Your version of the license contains terms which differ from the Mozilla Public License and Netscape Public License. (Filling in the name of the Initial Developer, Original Code or Contributor in the notice described in Exhibit A shall not of themselves be deemed to be modifications of this License.)

7. DISCLAIMER OF WARRANTY.

COVERED CODE IS PROVIDED UNDER THIS LICENSE ON AN "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, WARRANTIES THAT THE COVERED CODE IS FREE OF DEFECTS, MERCHANTABLE, FIT FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGING. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE COVERED CODE IS WITH YOU. SHOULD ANY COVERED CODE PROVE DEFECTIVE IN ANY RESPECT, YOU (NOT THE INITIAL DEVELOPER OR ANY OTHER CONTRIBUTOR) ASSUME THE COST OF ANY NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. THIS DISCLAIMER OF WARRANTY CONSTITUTES AN ESSENTIAL PART OF THIS LICENSE. NO USE OF ANY COVERED CODE IS AUTHORIZED HEREUNDER EXCEPT UNDER THIS DISCLAIMER.

8. TERMINATION.

8.1. This License and the rights granted hereunder will terminate automatically if You fail to comply with terms herein and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of the breach. All sublicenses to the Covered Code which are properly granted shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, must remain in effect beyond the termination of this License shall survive.

8.2. If You initiate litigation by asserting a patent infringement claim (excluding declatory judgment actions) against Initial Developer or a Contributor (the Initial Developer or Contributor against whom You file such action is referred to as "Participant") alleging that:

(a) such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent, then any and all rights granted by such Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 of this License shall, upon 60 days notice from Participant terminate prospectively, unless if within 60 days after receipt of notice You either: (i) agree in writing to pay Participant a mutually agreeable reasonable royalty for Your past and future use of Modifications made by such Participant, or (ii) withdraw Your litigation claim with respect to the Contributor Version against such Participant. If within 60 days of notice, a reasonable royalty and payment arrangement are not mutually agreed upon in writing by the parties or the litigation claim is not withdrawn, the rights granted by Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 automatically terminate at the expiration of the 60 day notice period specified above.

(b) any software, hardware, or device, other than such Participant's Contributor Version, directly or indirectly infringes any patent, then any rights granted to You by such Participant under Sections 2.1(b) and 2.2(b) are revoked effective as of the date You first made, used, sold, distributed, or had made, Modifications made by that Participant.

8.3. If You assert a patent infringement claim against Participant alleging that such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent where such claim is resolved (such as by license or settlement) prior to the initiation of patent infringement litigation, then the reasonable value of the licenses granted by such Participant under Sections 2.1 or 2.2 shall be taken into account in determining the amount or value of any payment or license.

8.4. In the event of termination under Sections 8.1 or 8.2 above, all end user license agreements (excluding distributors and resellers) which have been validly granted by You or any distributor hereunder prior to termination shall survive termination.

9. LIMITATION OF LIABILITY.

UNDER NO CIRCUMSTANCES AND UNDER NO LEGAL THEORY, WHETHER TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), CONTRACT, OR OTHERWISE, SHALL YOU, THE INITIAL DEVELOPER, ANY OTHER CONTRIBUTOR, OR ANY DISTRIBUTOR OF COVERED CODE, OR ANY SUPPLIER OF ANY OF SUCH PARTIES, BE LIABLE TO ANY PERSON FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY CHARACTER INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF GOODWILL, WORK STOPPAGE, COMPUTER FAILURE OR MALFUNCTION, OR ANY AND ALL OTHER COMMERCIAL DAMAGES OR LOSSES, EVEN IF SUCH PARTY SHALL HAVE BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION OF LIABILITY SHALL NOT APPLY TO LIABILITY FOR DEATH OR PERSONAL INJURY RESULTING FROM SUCH PARTY'S NEGLIGENCE TO THE EXTENT APPLICABLE LAW PROHIBITS SUCH LIMITATION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THIS EXCLUSION AND LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU.

10. U.S. GOVERNMENT END USERS.

The Covered Code is a "commercial item," as that term is defined in 48 C.F.R. 2.101 (Oct. 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept. 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4 (June 1995), all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

11. MISCELLANEOUS.

This License represents the complete agreement concerning subject matter hereof. If any provision of this License is held to be unenforceable, such provision shall be reformed only to the extent necessary to make it enforceable. This License shall be governed by California law provisions (except to the extent applicable law, if any, provides otherwise), excluding its conflict-of-law provisions. With respect to disputes in which at least one party is a citizen of, or an entity chartered or registered to do business in the United States of America, any litigation relating to this License shall be subject to the jurisdiction of the Federal Courts of the Northern District of California, with venue lying in Santa Clara County, California, with the losing party responsible for costs, including without limitation, court costs and reasonable attorneys' fees and expenses. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter shall not apply to this License.

12. RESPONSIBILITY FOR CLAIMS.

As between Initial Developer and the Contributors, each party is responsible for claims and damages arising, directly or indirectly, out of its utilization of rights under this License and You agree to work with Initial Developer and Contributors to distribute such responsibility on an equitable basis. Nothing herein is intended or shall be deemed to constitute any admission of liability.

13. MULTIPLE-LICENSED CODE.

Initial Developer may designate portions of the Covered Code as "Multiple-Licensed". "Multiple-Licensed" means that the Initial Developer permits you to utilize portions of the Covered Code under Your choice of the NPL or the alternative licenses, if any, specified by the Initial Developer in the file described in Exhibit A.

EXHIBIT A -Mozilla Public License.

``The contents of this file are subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at http://www.mozilla.org/MPL/

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is ______________________________________.

The Initial Developer of the Original Code is ________________________.
Portions created by ______________________ are Copyright (C) ______
_______________________. All Rights Reserved.

Contributor(s): ______________________________________.

Alternatively, the contents of this file may be used under the terms of the _____ license (the "[___] License"), in which case the provisions of [______] License are applicable instead of those above. If you wish to allow use of your version of this file only under the terms of the [____] License and not to allow others to use your version of this file under the MPL, indicate your decision by deleting the provisions above and replace them with the notice and other provisions required by the [___] License. If you do not delete the provisions above, a recipient may use your version of this file under either the MPL or the [___] License."

[NOTE: The text of this Exhibit A may differ slightly from the text of the notices in the Source Code files of the Original Code. You should use the text of this Exhibit A rather than the text found in the Original Code Source Code for Your Modifications.]

次ページへつづく

Exhibit E

MIT

Copyright (c)

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd
and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

giflib

The GIFLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond

libxml2

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reser

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2011, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

Exhibit F

Free Type

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by
David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

- We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. (`as is' distribution)
- You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. (`royalty-free' usage)
- You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. (`credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products. We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

"""
Portions of this software are copyright© <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
"""

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms

0. Definitions

Throughout this license, the terms `package', `FreeType Project', and `FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the `FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

`You' refers to the licensee, or person using the project, where `using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a `program' or `executable'. This program is referred to as `a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED `AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

- Redistribution of source code must retain this license file (`FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.
- Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: `FreeType Project', `FreeType Engine', `FreeType library', or `FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

- freetype@nongnu.org

  Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.

- freetype-devel@nongnu.org

  Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at

http://www.freetype.org

LibJPEG

LEGAL ISSUES
============

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:
(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA.
ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that
you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.)
However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf.
It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable.
The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh).
Another support script, install-sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot
legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software.
(Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.)
So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files.
To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce
"uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard
GIF decoders.

We are required to state that
"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

Open SSL

LICENSE ISSUES
==============

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.
See below for the actual license texts.
Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

/* ==

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

==

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*/

Original SSLeay License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

次ページへつづく

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]
*/

Vera Fonts

Copyright
Copyright (c) 2003 by Bitstream, Inc. All Rights Reserved. Bitstream Vera is a trademark of Bitstream, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the fonts accompanying this license ("Fonts") and associated documentation files (the "Font Software"), to reproduce and distribute the Font Software, including without limitation the rights to use, copy, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Font Software, and to permit persons to whom the Font Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright and trademark notices and this permission notice shall be included in all copies of one or more of the Font Software typefaces.

The Font Software may be modified, altered, or added to, and in particular the designs of glyphs or characters in the Fonts may be modified and additional glyphs or characters may be added to the Fonts, only if the fonts are renamed to names not containing either the words "Bitstream" or the word "Vera".

This License becomes null and void to the extent applicable to Fonts or Font Software that has been modified and is distributed under the "Bitstream Vera" names.

The Font Software may be sold as part of a larger software package but no copy of one or more of the Font Software typefaces may be sold by itself.

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL BITSTREAM OR THE GNOME FOUNDATION BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the names of Gnome, the Gnome Foundation, and Bitstream Inc., shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Font Software without prior written authorization from the Gnome Foundation or Bitstream Inc., respectively. For further information, contact: fonts at gnome dot org.

TIFF

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

商品の保証とアフターサービス　必ずお読みください

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

- 当社は、ブルーレイディスクレコーダーの補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、弊社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間
お買い上げ日から 1 年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは～持込修理

異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

商品の修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品　名	ブルーレイディスクレコーダー
形　名	DBR-Z320 または DBR-Z310
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
便利メモ お買い上げ店名	☎（　）　－

お客様へ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

商品を修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

■ 新商品などの商品選びや、お買い上げ後の基本的な取扱方法および編集やネットワークなどの高度な取扱方法などのご相談については裏表紙をご覧ください。

B-CAS カード ID 番号記入欄

●下欄に B-CAS カードの ID 番号をご記入ください。お問い合わせの際に役立ちます。

商品のお問い合わせに関して

リモコンでも本機のボタンでも操作できなくなったときは、以下の操作をしてみてください

❶ 本機の 電源 を8秒間以上押し続けて、電源を切る

❷ 電源プラグを電源コンセントから抜き、数秒間待つ

❸ 電源プラグを電源コンセントに差し込む

❹ 電源を入れて、動作を確認する

※この操作をしても正常に動作しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜き、修理をご依頼ください。

基本的な取扱方法や故障と思われる場合のご確認

東芝ブルーレイ / DVD < レグザ > お客様サポートページをご覧ください

http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

商品選びのご相談や、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

『東芝 DVD インフォメーションセンター』

0120-96-3755

※間違い電話が増えております。電話番号をよくお確かめのうえ、おかけいただきますようお願いいたします。

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません

受付時間：365 日　9:00 ～ 20:00

携帯電話からのご利用は	ナビダイヤル（通話料：有料）	0570-00-3755
PHS や IP 電話からのご利用は	（通話料：有料）	03-6830-1855
FAX	（有料）	03-3258-0470

- 「東芝 DVD インフォメーションセンター」は株式会社東芝　デジタルプロダクツ & サービス社が運営しております。
- お客様の個人情報は、「東芝個人情報保護方針」に従い適切な保護を実施しています。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。

愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか？		ご使用中止	
	• 再生しても音や映像が出ない。 • 煙が出たり、異常なにおいや音がする。 • 水や異物がはいった。 • ディスクが傷ついたり、取り出しができない。 • 電源コード、プラグが異常に熱くなる。 • その他の異常や故障がある。		このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

株式会社 東芝
デジタルプロダクツ & サービス社
〒 105 － 8001　東京都港区芝浦 1 － 1 － 1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

EAK16JD / EAK16JH / EAK15JD / EAK15JH
1VMN32997A ★★★★
Printed in China